audio-technica

ATH-AL5NC

取扱注意ガイド / ワイヤレスヘッドホン
Caution Guide / Wireless Headphones
Guide de mise en garde / Casque sans fil
Sicherheitsanweisungen / Kabellose Kopfhörer
Guida precauzionale / Cuffie wireless
Guía de precauciones / Auriculares inalámbricos
Guia de precauções de segurança / Fones de Ouvido Sem Fio
Руководство по мерам предосторожности / Беспроводные наушники
注意事项指南 / 无线耳机
注意事項 / 無線耳機

日本語

■ 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

■ 本体について

⚠警告 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

- **本製品を医療機器の近くで使用しない**
  電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- **航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する**
  電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- **自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**
  異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。
- **水をかけない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **布などで覆わない**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない**
  交通事故の原因となります。
- **周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しない**
  事故の原因となります。
- **本製品のバッテリージャックや付属の充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電しない**
  腐食・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。
- **付属の充電用USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で充電しない**
  発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。
- **付属の充電用USBケーブル以外で充電しない**
  故障や火災の原因になります。
- **USB電源アダプターやモバイルバッテリーを使用して充電する際、出力電流0.25A（250mA）以上の機器を使用する**
  ただし、急速充電機能（5Vより大きな電圧を出力する）を有する機器で充電しない
  充電ができない、故障の原因になります。

⚠注意 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

- **大音量で耳を刺激しない**
  耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- **肌に異常を感じた場合は、使用しない**
  すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。
- **ハウジングとアームの間やジョイント部に、指などを挟まない**
  けがや事故の原因になります。

■ 充電式電池について

本製品は、充電式電池（リチウムポリマー電池）を内蔵しています。

⚠危険 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
  すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
- **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**
  液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
  万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない**
  発熱、破損、発火の原因になります。
- **落下させたり強い衝撃を与えない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **水に濡らさない**
  発熱、破裂、発火の原因になります。
- **以下の場所で使用、放置、保管しない**
  ■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所　■炎天下の車内
  ■ストーブなどの熱源の近く
  液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

■ 内蔵充電式電池について

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は当社サービスセンターへご連絡ください。
サービスセンター 0120-887-416
（携帯電話などのご利用は　03-6746-0212）

■ 本製品を廃棄する場合　リサイクルのお願い

Li-ion

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を次の宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますのであらかじめご了承ください。

送り先：　〒915-0003　福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社オーディオテクニカフクイ
二次電池回収担当　宛
TEL：0778-25-6736（電池回収専用）

■ 使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 本製品は、構造上音が外に漏れやすくなっています。交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず接続機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、本製品をそのままバッグなどに入れると充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず本製品から充電用USBケーブルを取り外してください。
- 本製品を使用しないときは、付属のポーチに収納してください。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外（アプリなど利用してパケット通信を介している電話）は、動作保証できません。
- 本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ラジオのアンテナ付近で使用すると、ラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品が汗などで濡れている場合は、乾いた布で水分を完全に拭き取ってから充電してください。

■ アクティブノイズキャンセリング機能について

本製品に内蔵されたマイクロホンで周囲の環境騒音（乗り物の騒音やエアコンなどの空調音など）を収音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。その結果、環境騒音が低減して聞こえます。

- 本製品のノイズキャンセリング機能は、主に低い周波数帯域の騒音に対して効果的ですが、すべての騒音が消えるわけではありません。
- 静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- ノイズキャンセリング機能を使用しているとき、「サー」という音がする場合があります。これはノイズキャンセリング機能の特性によって発生する音であり、故障ではありません。
- 本製品の装着のしかたによっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出ることがあります。このような場合は、本製品を装着し直してください。
- 列車、バスやトラックなどといった自動車で本製品をご使用の場合、レールや路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- 本製品はハウジング部分が開放型の構造かつノイズキャンセリング機能が搭載されているため、ハウリング防止機能が搭載されています。ハウジング部分を手などで覆うと、本機能が働き一時的にノイズキャンセリング機能が動作しなくなりますが、故障ではありません。

■ 本製品の接続がうまくいかない場合は Ⓐ

ペアリングが解除できない、接続できない場合、強制的にペアリングモードにすることで再度ペアリングを行うことができます。

1. 本製品の電源がONの状態で、電源／コントロールボタンとボリュームボタン（＋）を同時に長押し（約6秒）します。
2. 本製品が「機器検索中」状態（ペアリングモード）に切り替わり、接続したいBluetooth端末とのペアリングを行うことができるようになります。

■ 本製品の動作がおかしい場合は Ⓐ

本製品をリセットしてください。

1. 本製品の電源がONの状態で、ボリュームボタン（＋／－）を同時に長押し（約6秒）します。
2. インジケーターがオレンジ色点灯したあと本製品が再起動し、リセットが完了します。
3. Bluetooth端末側から本製品の登録を削除し、再度ペアリングを行います。

■ 適合機種について

Bluetooth対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。

https://www.audio-technica.co.jp/support/

- 右のQRコードからアクセスできます。

本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。販売国以外では使用できません。

■ Bluetooth® 製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合などご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1　この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

■ ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。
– 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
– 病院内では使用しない。

■ 使用上の注意

本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

■ 通信距離について

障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品をBluetooth搭載機器の近くで使用してください。

■ Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために Ⓑ

本製品の有効な通信範囲は障害物や電波状態によって変動します。本製品を快適にお楽しみいただくために、本製品とBluetooth端末をなるべく近づけてご使用ください。本製品のアンテナ部（L側）とBluetooth端末の間に人体やそのほか障害物がないことで、ノイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。

English

Although this product was designed to be used safely, failing to use it correctly may result in an accident. To ensure safety, observe all warnings and cautions while using the product.

■ Safety precautions

Cautions for the product

- Do not use the product near medical equipment. Radio waves may affect cardiac pacemakers and medical electronic equipment. Do not use the product inside medical facilities.
- When using the product in aircraft, follow airline instructions.
- Do not use the product near automatic control devices such as automatic doors and fire alarms. Radio waves may affect electronic equipment and cause accidents due to malfunction.
- Do not disassemble, modify or attempt to repair the product to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not subject the product to strong impact to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not handle the product with wet hands to avoid electric shock or injury.
- Disconnect the product from a device if the product begins to malfunction, producing smoke, odor, heat, unwanted noise or showing other signs of damage. In such a case, contact your local Audio-Technica dealer.
- Do not allow the product to get wet to avoid electric shock or malfunction.
- Do not put foreign matter such as combustible materials, metal, or liquid in the product.
- Do not cover the product with a cloth to avoid fire or injury by overheating.
- Follow applicable laws regarding mobile phone and headphone use if using headphones while driving.
- Do not use the product in places where the inability to hear ambient sound presents a serious risk (such as at railroad crossings, train stations, and construction sites).
- Do not charge the battery if the terminal of the USB charging cable is bent, loose, or damaged. Doing so may cause heat generation, smoke emission, fire or electric shock.
- Do not charge the product if water or foreign matter is inside the battery jack or USB charging cable. Doing so may cause corrosion, heat generation, smoke, fire, or other malfunction or electric shock in the battery jack or USB charging cable.
- When charging, make sure to use the included USB charging cable.
- When using a commercially sold USB power adapter or power bank for charging, use a device with an output current of 0.25 A (250 mA) or higher. However, do not charge with devices that have quick-charge functionality (with a voltage of 5 V or more). Doing so may cause the product to failure of charging or malfunction.
- To prevent damage to your hearing, do not raise the volume too high. Listening to loud sound for an extended period may cause temporary or permanent hearing loss.
- Discontinue use if skin irritation results from direct contact with the product.
- Do not catch your fingers or other body parts between the housing and the arm or inside the joints.

Cautions for rechargeable battery

The product is equipped with a rechargeable battery (lithium-ion battery).

- If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse thoroughly with clean water such as tap water and consult a doctor immediately.
- If battery fluid leaks, do not touch fluid with bare hands. If fluid remains inside the product, it may cause malfunction. If battery fluid leaks, contact your local Audio-Technica dealer.
  – If fluid gets in your mouth, gargle thoroughly with clean water such as tap water and consult a doctor immediately.
  – If your skin or clothing comes in contact with fluid, immediately wash the affected skin or clothing with water. If you experience skin irritation, consult a doctor.
- To avoid leakage, generation of heat or explosion:
  – Never heat, disassemble or modify the battery, nor dispose of it in a fire.
  – Do not attempt to pierce with a nail, hit with a hammer or step on the battery.
  – Do not drop the product or subject it to strong impact.
  – Do not get the battery wet.
- Do not use, leave or store the battery in the following places:
  – Area exposed to direct sunlight or high temperatures and humidity
  – Inside of a car under the blazing sun
  – Near heat sources such as heat registers
- Charge only with the included USB cable to avoid malfunction or fire.
- The internal rechargeable battery of this product cannot be replaced by the user. The battery may have reached the end of its service life if the usage time becomes significantly shorter even after the battery has been fully charged. If this is the case, the battery needs to be repaired. Contact your local Audio-Technica dealer for repair details.
- When the product is disposed of, the built-in rechargeable battery needs to be discarded properly. Contact your local Audio-Technica dealer to learn how to properly dispose of the battery.

For customers in the USA
FCC Notice

Warning

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.
Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.
This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter used in other systems.
Note: If you remove the earpad on the left side, you can see the information of FCC ID immediately.

RF Exposure Statement

This device complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. The SAR limit of FCC is 1g 1.6 W/kg. This device has also been tested against this SAR limit.

Contact:

Responsible Company: Audio-Technica U.S., Inc.
Address: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
Tel: 330-686-2600

For customers in Canada
ISED statement

CAN ICES(B)/NMB(B)
This device contains licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause interference.
(2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.
This device complies with RSS-102 radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment.
The SAR limit of ISED is 1g 1.6 W/kg. This device has also been tested against this SAR limit.
Note: If you remove the earpad on the left side, you can see the information of IC immediately.

■ Notes on use

- Be sure to read the connected device's user manual before use.
- Audio-Technica will not be liable in any way for any loss of data in the unlikely event that such losses should occur while using the product.
- The product is designed to easily dissipate noise to the outside. On public transport systems or in other public places, keep the volume low so as not to disturb other people.
- Minimize the volume on your device before connecting the product.
- When using the product in a dry environment, you may feel a tingling sensation in your ears. This is caused by static electricity accumulated on your body, not by product malfunction.
- Do not subject the product to strong impact.
- Do not store the product in direct sunlight, near heating devices, or in hot, humid, or dusty places. Additionally, do not allow the product to get wet.
- When the product is used for a long time, the product may become discolored due to ultraviolet light (especially direct sunlight) and wear.
- If the product is placed in a bag while the USB charging cable is still connected, the USB charging cable may become caught, severed, or broken.
- Make sure to hold the plug when connecting and disconnecting the USB charging cable. The USB charging cable may become severed or an accident may occur if you pull on the cable itself.
- When you are not using the USB charging cable, disconnect it from the product.
- When you are not using the product, store it in the included pouch.
- This product can be used to talk on the phone only when using a mobile telephone network. Support for telephony apps that use a mobile data network is not guaranteed.
- If you use the product near an electronic device or transmitter (such as a mobile phone), unwanted noise may be heard. In this case, move the product away from the electronic device or transmitter.
- If you use the product near a radio antenna, noise may be heard in the radio signal. In this case, move the product away from the radio antenna.
- To protect the built-in rechargeable battery, charge it at least once every 6 months. If too much time passes between charges, the life of the rechargeable battery may be reduced, or the rechargeable battery may no longer be able to be charged.
- Charge the product in a well-ventilated place (10 to 35°C (50 to 95°F)) away from direct sunlight. Otherwise, the battery may deteriorate, possibly resulting in shorter periods of continuous use or may fail to charge.
- If the product is wet with sweat, wipe off any moisture with a dry cloth before charging.

■ About the active noise-cancelling function

The product is designed to use its built-in microphone to pick up noise from the surrounding environment (noise from vehicles, noise from air conditioners, etc.) and to cancel out that noise by producing sounds in negative phase. This results in a reduction in the sounds in your environment.

- The product's noise-cancelling function is mainly effective against noises in the lower frequency range, but not all noises are cancelled.
- Depending on the type of noise (or in quiet locations), you may not notice the noise-cancelling effect.
- A slight humming sound may be heard when using the noise-cancelling function. This is a sound generated by the noise-cancelling function; it is not a malfunction.
- The noise-cancelling effect may vary or a bleep (howling) may occur depending on how you wear the product. In these cases, take off the product and put the product in your ears again correctly.
- When you use the product in a train or a vehicle such as bus or truck, noise may be heard depending on rail/street conditions.
- The product features an open-air housing design and noise-cancelling function, and is equipped with a feedback prevention function. Covering the housing with your hand or other object will activate this feedback prevention function, temporarily disabling the noise-cancelling function. This is not a malfunction.

■ If the product does not connect to a device Ⓐ

If pairing cannot be canceled or is not successful, you can use forced pairing mode to perform pairing again.

1. With the product turned on, press and hold (about 6 seconds) the power supply / control button and the volume button (+) at the same time.
2. The product will switch to the "searching for devices" (pairing mode) state and you will be able to pair with your desired Bluetooth device.

■ If the product operates abnormally Ⓐ

Reset the product.

1. With the product turned on, press and hold (about 6 seconds) the volume button (+/-) at the same time.
2. After the indicator lamp lights in orange, the product will restart, and the reset will be complete.
3. Remove the product from the list of registered devices on your Bluetooth device, and perform pairing again.

■ For a more comfortable Bluetooth communication experience Ⓑ

The effective communication range of this product varies depending on obstructions and radio wave conditions.
For a more enjoyable experience, please use the product as close as possible to the Bluetooth device. To minimize noise and sound disruptions, avoid placing your body or other obstacles between the product's antenna (L side) and the Bluetooth device.

Français

Bien que ce produit ait été conçu pour assurer une utilisation en toute sécurité, tout usage incorrect est susceptible de provoquer un accident. Pour votre sécurité respectez tous les avertissements et mises en garde lorsque vous utilisez le produit.

■ Consignes de sécurité

Mises en garde concernant le produit

- N'utilisez pas le produit à proximité d'un équipement médical. Les ondes radio peuvent affecter les stimulateurs cardiaques et les appareils électroniques médicaux. N'utilisez pas le produit dans un établissement hospitalier.
- Si vous utilisez le produit dans un avion, conformez-vous aux instructions de la compagnie aérienne.
- N'utilisez pas le produit à proximité d'appareils à commande automatique, comme des portes automatiques ou des alarmes incendie. Les ondes radio peuvent affecter les appareils électroniques et provoquer des accidents suite à un dysfonctionnement.
- Ne démontez pas, ne modifiez pas ou n'essayez pas de réparer le produit pour éviter tout risque d'électrocution, de dysfonctionnement ou d'incendie.
- Ne soumettez pas le produit à un choc violent pour éviter tout risque d'électrocution, de dysfonctionnement ou d'incendie.
- Ne manipulez pas le produit avec les mains mouillées pour éviter tout risque d'électrocution ou de blessure.
- Déconnectez le produit s'il commence à présenter des dysfonctionnements, à émettre de la fumée, une odeur, de la chaleur, des bruits indésirables ou à présenter d'autres signes de dommage. Le cas échéant, prenez contact avec votre revendeur local Audio-Technica.
- Ne mouillez pas le produit pour éviter tout risque d'électrocution ou de dysfonctionnement.
- N'introduisez pas de corps étrangers comme des matériaux combustibles, du métal ou un liquide dans le produit.
- Ne recouvrez pas le produit avec un chiffon car cela entraînerait un risque d'incendie ou de blessure suite à une surchauffe.
- Respectez les lois en vigueur concernant l'utilisation de téléphones mobiles et casques si vous utilisez le casque en conduisant.
- N'utilisez pas le produit dans des endroits où l'incapacité à entendre les sons ambiants présente un risque grave (tels qu'un passage à niveau, une gare ferroviaire et des chantiers).
- Ne rechargez pas la batterie si la borne du câble de recharge USB est pliée, desserrée ou endommagée. Cela pourrait entraîner une production de chaleur, une émission de fumée, un incendie ou un choc électrique.
- Ne chargez pas le produit si de l'eau ou un corps étranger se trouve à l'intérieur de la prise jack pour batterie ou du câble de recharge USB. Cela pourrait provoquer de la corrosion, de la production de chaleur, de la fumée, un incendie ou tout autre dysfonctionnement ou choc électrique dans la prise jack pour batterie ou le câble de recharge USB.
- Lors de la charge, veuillez utiliser le câble de recharge USB fourni.
- Lorsque vous utilisez un adaptateur secteur USB ou une batterie externe vendus dans le commerce pour la charge, privilégiez un appareil avec un courant de sortie d'au moins 0,25 A (250 mA). Par contre, évitez d'effectuer la charge avec des appareils ayant une fonction de charge rapide (tension de 5 V ou plus). Le produit risquerait alors de ne pas se charger ou fonctionner correctement.
- Pour éviter d'endommager votre ouïe, n'augmentez pas trop le volume. L'écoute prolongée de sons forts peut provoquer une perte auditive temporaire ou permanente.
- Cessez d'utiliser le produit en cas d'irritation cutanée découlant d'un contact direct avec celui-ci.
- Ne coincez pas vos doigts ou d'autres parties du corps entre la coque et le bras ou à l'intérieur des articulations.

Mises en garde relative à la batterie rechargeable

Le produit est doté d'une batterie rechargeable (batterie lithium-ion).

- Si le liquide de batterie pénètre dans vos yeux, ne les frottez pas. Rincez abondamment à l'eau claire, l'eau du robinet par exemple, et consultez immédiatement un médecin.
- En cas de fuite du liquide de batterie, ne le touchez pas les mains nues. Si le liquide reste à l'intérieur du produit, cela peut provoquer un dysfonctionnement. En cas de fuite du liquide de batterie, prenez contact avec votre revendeur local Audio-Technica.
  – Si le liquide pénètre dans votre bouche, rincez-vous abondamment la bouche à l'eau claire, l'eau du robinet par exemple, et consultez immédiatement un médecin.
  – Si le liquide entre en contact avec votre peau ou vos vêtements, lavez immédiatement la zone affectée avec de l'eau. En cas d'irritation cutanée, consultez un médecin.
- Pour éviter les fuites, l'émission de chaleur ou une explosion:
  – Ne jamais chauffer, démonter ou modifier la batterie, ni la jeter au feu.
  – N'essayez pas de percer la batterie avec un clou, de la frapper avec un marteau ou de marcher dessus.
  – Ne laissez pas tomber le produit et ne le soumettez pas à un impact fort.
  – Veillez à ne pas mouiller la batterie.
- Abstenez-vous d'utiliser, laisser ou ranger la batterie dans les endroits suivants:
  – Zone exposée à un ensoleillement direct ou à des températures ou une humidité élevée(s)
  – À l'intérieur d'une voiture sous un soleil de plomb
  – Près de sources de chaleur ou d'appareils de chauffage
- La recharge ne doit être faite qu'avec le câble USB fourni pour éviter un dysfonctionnement ou un incendie.
- L'utilisateur ne peut pas remplacer lui-même la batterie interne rechargeable de ce produit. Il se peut que la batterie ait atteint la fin de sa vie utile si la durée d'utilisation raccourcit considérablement même si la batterie est complètement chargée. Si tel est le cas, la batterie doit être réparée. Contactez votre revendeur local Audio-Technica pour les détails de la réparation.
- Lors de l'élimination du produit, la batterie rechargeable intégrée doit être mise au rebut de manière appropriée. Contactez votre revendeur local Audio-Technica pour savoir comment éliminer correctement la batterie.

À l'attention des clients aux États-Unis
Avis de la FCC

Avertissement

Cet appareil est conforme à la Partie 15 du règlement de la FCC. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes : (1) Cet appareil ne doit pas causer d'interférence nocive et (2) cet appareil doit accepter les interférences reçues, y compris les interférences pouvant provoquer un fonctionnement indésirable.

Mise en garde

Vous êtes averti que tout changement ou modification non expressément approuvée dans ce manuel est susceptible d'annuler votre droit d'utilisation de cet appareil.
Remarque: Cet appareil a fait l'objet de tests afin de vérifier sa conformité avec les limites relatives aux appareils numériques de classe B, conformément à la partie 15 du règlement de la FCC. Ces limites ont pour vocation d'offrir une protection raisonnable contre les interférences nocives en installation résidentielle. Cet appareil génère, utilise et peut émettre des fréquences radioélectriques et provoquer, en cas d'installation et d'utilisation non conformes aux instructions, des interférences préjudiciables à la réception des signaux radio. Toutefois, il n'y a pas de garantie que des interférences ne se produiront pas dans une installation particulière. Si l'appareil provoque des interférences préjudiciables à la réception radio ou télévisée, ce qui peut être déterminé en éteignant et allumant l'appareil, l'utilisateur est invité à essayer d'y remédier en prenant une ou plusieurs des mesures suivantes:
– Réorienter ou déplacer l'antenne réceptrice.
– Augmenter la séparation entre l'appareil et le récepteur.
– Brancher l'appareil dans une prise, sur un circuit différent de celui auquel est raccordé le récepteur.
– Demander de l'aide au revendeur ou à un technicien radio/TV qualifié.
Ce transmetteur ne doit pas être placé ou opéré en conjonction avec tout autre transmetteur ou antenne utilisés dans d'autres systèmes.
Remarque: Si vous retirez le coussinet d'oreille du côté gauche, vous pouvez voir les informations de l'identifiant FCC.

Déclaration d'exposition aux radiofréquences

Cet appareil est conforme aux limites d'exposition concernant l'exposition aux radiations établies par la FCC dans un environnement non contrôlé et satisfait les directives d'exposition aux radiofréquences (RF) de la FCC. La limite de DAS de FCC est de 1g 1,6 W/kg. L'appareil a également été testé par rapport à cette limite de DAS conformément à cette norme.

Contact :

Entreprise responsable : Audio-Technica U.S., Inc.
Adresse : 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
Tél : 330-686-2600

À l'attention des clients au Canada
Déclaration de conformité ISDE

CAN ICES(B)/NMB(B)
L'émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :
(1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage;
(2) L'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.
Cet appareil est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements RSS-102 établies pour un environnement non contrôlé.
La limite de DAS de l'ISED est de 1g 1,6 W/kg. L'appareil a également été testé par rapport à cette limite de DAS conformément à cette norme.
Remarque: Si vous retirez le coussinet d'oreille du côté gauche, vous pouvez voir les informations de l'IC.

■ Remarques concernant l'utilisation

- Veillez à lire le manuel de l'utilisateur de l'appareil connecté avant toute utilisation.
- Audio-Technica ne pourra en aucun cas être tenu responsable des pertes de données dans le cas peu probable que de telles pertes se produisent lors de l'utilisation de la produit.
- De par la conception du produit, le son peut facilement se propager à l'extérieur. Dans les transports publics ou dans d'autres lieux publics, veillez au volume afin de ne pas déranger les autres.
- Baissez le volume au maximum sur votre appareil avant de connecter le produit.
- Si vous utilisez le produit dans une atmosphère sèche, vous pouvez ressentir des picotements dans les oreilles. Ceci est dû à l'électricité statique accumulée sur votre corps et non à un dysfonctionnement du produit.
- Ne soumettez pas le produit à un impact fort.
- Ne laissez pas le produit exposé à l'ensoleillement direct, près d'appareils générant de la chaleur ou dans un endroit chaud, humide ou poussiéreux. Ne laissez pas non plus le casque exposé aux liquides et aux éclaboussures.
- Si vous utilisez longtemps le produit, il peut se décolorer en raison de la lumière ultraviolette (particulièrement sous un ensoleillement direct) et de l'usure.
- Si vous placez le produit dans un sac alors que le câble de chargement USB est encore connecté, le câble de chargement USB peut se coincer, être coupé ou cassé.
- Veillez à tenir le câble par la prise lorsque vous connectez ou déconnectez le câble de recharge USB. Le câble de recharge USB peut se couper ou un accident peut se produire si vous tirez sur le câble lui-même.
- Si vous n'utilisez pas le câble de recharge USB, déconnectez-le du produit.
- Lorsque vous n'utilisez pas le produit, rangez-le dans la pochette incluse.
- Ce produit peut être utilisé pour parler au téléphone uniquement si vous utilisez un réseau de téléphonie mobile. La prise en charge d'applications de téléphonie utilisant un réseau de données mobiles n'est pas garantie.
- Si vous utilisez le produit près d'une antenne radio, du bruit peut être entendu dans le signal de la radio. Dans ce cas, éloignez le produit de l'antenne radio.
- Si vous utilisez le produit près d'une antenne radio, du bruit peut être vu ou entendu dans le signal de la radio. Dans ce cas, éloignez le produit de l'antenne radio.
- Pour protéger la batterie rechargeable intégrée, chargez-la au moins une fois tous les 6 mois. S'il s'écoule trop de temps entre les recharges, la durée de vie de la batterie rechargeable peut être réduite, ou la batterie rechargeable risque de ne plus pouvoir être rechargée.
- Rechargez le produit dans un endroit aéré (10 à 35 °C) à l'abri de l'ensoleillement direct. Les performances de la batterie risquent sinon de se dégrader, réduisant éventuellement les périodes d'utilisation continue ou empêchant la recharge.
- Si le produit est mouillé par la sueur, essuyez toute l'humidité avec un chiffon sec avant de le recharger.

■ À propos de la fonction active annulation du bruit

Le produit est conçu pour utiliser son microphone intégré pour capter le bruit du milieu environnant (bruit des véhicules, bruit des climatiseurs, etc.) et supprimer ce bruit en produisant des sons en phase négative. Il en résulte une réduction des sons dans votre environnement.

- La fonction Annulation du bruit du produit est surtout efficace contre les bruits dans les basses fréquences, mais tous les bruits ne sont pas annulés.
- En fonction du type de bruit (ou dans des emplacements calmes), vous ne constatez peut-être pas l'effet d'annulation du bruit.
- Un léger bourdonnement peut être entendu lors de l'utilisation de la fonction d'annulation du bruit. C'est un son généré par la fonction d'annulation du bruit ; ce n'est pas un dysfonctionnement.
- L'effet d'annulation du bruit peut varier ou un sifflement (effet Larsen) peut se produire en fonction de la façon dont vous portez le produit. Dans ces cas, retirez le produit puis replacez-le correctement dans vos oreilles.
- Lorsque vous utilisez le produit dans un train ou dans un véhicule comme un bus ou un camion, du bruit peut se faire entendre en fonction de l'état des rails ou de la route.
- Le produit possède une coque ouverte et d'une fonction d'Annulation du bruit, et il a une fonction qui empêche l'effet Larsen. Mettre la main ou tout autre objet sur la coque active cette fonction qui empêche l'effet Larsen, ce qui désactive temporairement la fonction d'Annulation du bruit ; ce n'est pas un dysfonctionnement.

■ Si le produit ne se connecte pas à un appareil Ⓐ

Si l'appairage ne peut être annulé ou échoue, vous pouvez utiliser le mode d'appairage forcé pour effectuer un nouvel appairage.

1. Le produit étant allumé, appuyez et maintenez (environ 6 secondes) le bouton d'alimentation/contrôle et le bouton de volume (+) en même temps.
2. Le produit passe en mode « Recherche d'appareils » (mode de couplage) et vous pourrez effectuer l'appairage avec l'appareil Bluetooth de votre choix.

■ Si le produit fonctionne de manière anormale Ⓐ

Réinitialisez le produit.

1. Le produit étant allumé, appuyez et maintenez (environ 6 secondes) les boutons de volume (+/-) en même temps.
2. Lorsque le témoin lumineux s'allume en orange, le produit redémarre et la réinitialisation est terminée.
3. Retirez le produit de la liste des appareils enregistrés sur votre appareil Bluetooth, et recommencez l'appairage.

■ Pour une expérience de communication Bluetooth plus confortable Ⓑ

La plage de communication effective de ce produit varie en fonction des obstacles et des ondes radio.
Pour une expérience plus agréable, veuillez utiliser le produit le plus près possible du dispositif Bluetooth. Pour réduire les gênes acoustiques et le bruit, évitez de placer votre corps ou tout autre obstacle entre l'antenne du produit (côté G) et du dispositif Bluetooth.

Deutsch

Obwohl dieses Produkt für die sichere Anwendung konstruiert wurde, kann falsche Verwendung einen Unfall verursachen. Beachten Sie zu Ihrer Sicherheit alle Hinweise, wenn Sie das Produkt verwenden.

■ Sicherheitsvorkehrungen

Vorsichtshinweise für das Produkt

- Verwenden Sie das Produkt nicht in der Nähe medizinischer Geräte. Funkwellen können Herzschrittmacher und medizinische elektronische Geräte stören. Verwenden Sie das Produkt nicht in medizinischen Einrichtungen.
- Wenn Sie das Produkt im Flugzeug verwenden, folgen Sie den Anweisungen der Fluggesellschaft.
- Verwenden Sie das Produkt nicht in der Nähe von automatisch arbeitenden Vorrichtungen wie automatischen Türen und Feuermeldern. Funkwellen können die Funktion elektronischer Geräte stören und Unfälle verursachen.
- Zerlegen oder ändern Sie das Produkt nicht, und versuchen Sie auch nicht, es zu reparieren, um einen elektrischen Schlag, Funktionsstörungen oder einen Brand zu vermeiden.
- Setzen Sie das Produkt keinen starken Erschütterungen aus, um einen elektrischen Schlag, Funktionsstörungen oder einen Brand zu vermeiden.
- Benutzen Sie das Produkt nicht mit nassen Händen, um einen elektrischen Schlag oder eine Verletzung zu vermeiden.
- Trennen Sie das Produkt von einem Gerät, wenn das Produkt eine Fehlfunktion aufweist, Rauch oder Geruch austritt, Hitze oder unerwünschte Geräusche entstehen oder andere Zeichen der Beschädigung erkennbar werden. Wenden Sie sich in einem solchen Fall an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler.
- Lassen Sie das Produkt nicht nass werden, um einen elektrischen Schlag oder Funktionsstörungen zu vermeiden.
- Achten Sie darauf, dass keine Fremdkörper wie brennbare Materialien, Metallgegenstände oder Flüssigkeiten in das Produkt gelangen.
- Decken Sie das Produkt nicht beim Gebrauch oder beim Aufladen nicht mit einem Tuch ab, um einen Brand oder eine Verletzung durch Überhitzung zu vermeiden.
- Wenn die Kopfhörer beim Lenken eines Fahrzeugs verwendet werden sollen, beachten Sie die betreffenden Gesetze zum Gebrauch von Mobiltelefonen und Kopfhörern.
- Benutzen Sie das Produkt nicht an Orten, wo die Nichtwahrnehmung von Umgebungsgeräuschen eine ernste Gefahr darstellt (beispielsweise an Bahnübergängen, in Bahnhöfen und an Baustellen).
- Laden Sie den Akku nicht auf, wenn der Anschluss des USB-Ladekabels verbogen, locker oder beschädigt ist. Dies kann zu Hitzeentwicklung, Rauchentwicklung, Feuer oder einem elektrischen Schlag führen.
- Laden Sie das Produkt nicht, wenn sich Wasser oder Fremdkörper in der Ladebuchse oder am USB-Ladekabel befinden. Dies kann zu Korrosion, Hitzeentwicklung, Rauch, Feuer, Stromschlägen oder anderen Fehlfunktionen in der Ladebuchse oder im USB-Ladekabel führen.
- Verwenden Sie für den Ladevorgang das mitgelieferte USB-Ladekabel.
- Wenn Sie zum Laden einen handelsüblichen USB-Netzadapter oder eine Powerbank verwenden, verwenden Sie ein Gerät mit einem Ausgangsstrom von 0,25 A (250 mA) oder höher. Laden Sie jedoch nicht mit Geräten mit Schnellladefunktion (mit einer Spannung von 5 V oder mehr). Andernfalls kann es zu einem Ladefehler oder Funktionsstörungen des Produkts kommen.
- Benutzen Sie die Kopfhörer niemals mit zu hoher Lautstärke, um Gehörschäden zu vermeiden. Wenn die Ohren längere Zeit einem hohen Schallpegel ausgesetzt, kann dies zu zeitweiligem oder permanentem Hörverlust führen.
- Sollte der direkte Kontakt mit dem Produkt Hautreizungen verursachen, stellen Sie den Gebrauch unverzüglich ein.
- Achten Sie darauf, nicht Ihre Finger oder andere Körperteile zwischen dem Gehäuse und dem Arm oder in den Gelenken einzuklemmen.

Vorsichtshinweise für den Akku

Das Produkt ist mit einem Akku (auf Lithiumionen-Basis) ausgestattet.

- Sollte Batterieflüssigkeit in die Augen geraten, diese nicht reiben. Spülen Sie die Augen ausgiebig mit sauberem Wasser wie Leitungswasser aus und ziehen Sie sofort einen Arzt hinzu.
- Sollte Batterieflüssigkeit auslaufen, berühren Sie diese nicht mit den bloßen Händen. Im Produkt verbleibende Flüssigkeit kann Funktionsstörungen verursachen. Wenn Batterieflüssigkeit ausläuft, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler.
  – Sollte Flüssigkeit in den Mund geraten, spülen und gurgeln Sie ausgiebig mit sauberem Wasser wie Leitungswasser und ziehen Sie sofort einen Arzt hinzu.
  – Wenn Flüssigkeit auf die Haut oder ein Kleidungsstück gerät, waschen Sie die betroffene Stelle sofort mit Wasser. Sollte sich eine Hautreizung einstellen, suchen Sie einen Arzt auf.
- So vermeiden Sie Auslaufen, Wärmeentwicklung und Explosion:
  – Erhitzen, zerlegen oder verändern Sie den Akku nicht, und entsorgen Sie ihn nicht durch Verbrennen.
  – Versuchen Sie nicht, mit einem Nagel ein Loch in den Akku zu bohren, schlagen Sie nicht mit einem Hammer auf den Akku und treten Sie auch nicht darauf.
  – Lassen Sie das Produkt nicht fallen, und setzen Sie es keinen starken Stößen aus.
  – Achten Sie darauf, dass der Akku nicht nass wird.
- Der Akku darf nicht an einem der nachstehenden Orte verwendet, aufbewahrt oder gelagert werden:
  – Orte, die direktem Sonnenlicht oder hohen Temperatur- und Feuchtigkeitswerten ausgesetzt sind
  – In einem in der prallen Sonne geparkten Fahrzeug
  – In der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern
- Laden Sie das Produkt ausschließlich mit dem im Lieferumfang enthaltenen USB-Kabel, um eine Funktionsstörung oder einen Brand zu vermeiden.
- Sie können den internen Akku dieses Produkts nicht selbst austauschen. Der Akku hat möglicherweise das Ende seiner Lebensdauer erreicht, wenn die Nutzungsdauer merklich kürzer wird, obwohl der Akku voll geladen wurde. In diesem Fall muss der Akku repariert werden. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler, um weitere Informationen zur Reparatur zu erhalten.
- Wenn das Produkt das Ende seiner Lebensdauer erreicht hat, ist auf korrekte Entsorgung des internen Akkus zu achten. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler, um zu erfahren, wie Sie den Akku umweltgerecht entsorgen können.

Für Kunden in den USA
FCC-Hinweis

Warnung

Dieses Gerät entspricht Teil 15 der FCC-Vorschriften. Der Betrieb unterliegt den beiden folgenden Bedingungen: (1) Dieses Gerät darf keine Störungen verursachen, und (2) dieses Gerät muss empfangene Störungen tolerieren, auch wenn sie unerwünschte Auswirkungen auf den Betrieb haben.

Vorsicht

Sie werden davor gewarnt, dass jegliche nicht ausdrücklich in dieser Anleitung genehmigten Änderungen Ihre Berechtigung zum Betrieb dieses Gerätes ungültig machen könnten.
Hinweis: Dieses Gerät wurde getestet und entspricht den Grenzwerten für ein digitales Gerät der Klasse B, entsprechend Teil 15 der FCC-Vorschriften. Diese Vorschriften sind dazu bestimmt, einen angemessenen Schutz gegen Störungen in häuslichen Installationen zu bieten. Dieses Gerät erzeugt und verwendet Funkfrequenzenergie und kann solche ausstrahlen, wodurch es bei unsachgemäßer Installation und Bedienung zu Störungen des Funkverkehrs kommen kann. Es kann jedoch nicht garantiert werden, dass bei ordnungsgemäßer Installation keine Empfangsstörungen auftreten. Wenn das Gerät Störungen im Rundfunk- oder Fernsehempfang verursacht, was durch vorübergehendes Ausschalten des Gerätes überprüft werden kann, versuchen Sie, die Störung durch eine oder mehrere der folgenden Maßnahmen zu beheben:
– Richten Sie die Empfangsantenne neu aus oder stellen Sie sie an einem anderen Ort auf.
– Erhöhen Sie den Abstand zwischen dem Gerät und dem Empfänger.
– Schließen Sie das Gerät und den Empfänger an getrennte Stromkreise an.
– Wenden Sie sich an den Händler oder einen erfahrenen Radio- und Fernsehtechniker für weitere Empfehlungen.
Diese Sendeanlage darf nicht in Verbindung mit einer anderen Antenne oder einer anderen Sendeanlage betrieben werden.
Hinweis: Wenn Sie den Ohrpolster auf der linken Seite entfernen, können Sie die Informationen der FCC-ID sofort sehen.

Erklärung zur HF-Exposition

Dieses Gerät entspricht den FCC-Grenzwerten für Strahlenbelastung, die für eine nicht kontrollierte Umgebung festgelegt wurden und erfüllt die FCC-Richtlinien für die HF-Exposition. Der SAR-Grenzwert der FCC beträgt 1g 1,6 W/kg. Dieses Gerät wurde auch auf diesen SAR-Grenzwert getestet.

Kontakt:

Verantwortliches Unternehmen: Audio-Technica U.S., Inc.
Anschrift: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
Tel.: 330-686-2600

Für Kunden in Kanada
ISED-Strahlenbelastungserklärung

CAN ICES(B)/NMB(B)
Dieses Gerät enthält einen oder mehrere lizenzfreie Sender/Empfänger, die den lizenzfreien RSS von Innovation, Science and Economic Development Canada entsprechen. Der Betrieb unterliegt den beiden folgenden Bedingungen:
(1) Dieses Gerät darf keine Störungen verursachen.
(2) Dieses Gerät muss alle Störungen tolerieren, auch wenn sie unerwünschte Auswirkungen auf den Betrieb haben.
Dieses Gerät entspricht den Strahlungsbelastungsgrenzen der RSS-102, die für eine nicht kontrollierte Umgebung festgelegt wurden.
Der SAR-Grenzwert der ISED beträgt 1g 1,6 W/kg. Dieses Gerät wurde auch auf diesen SAR-Grenzwert getestet.
Hinweis: Wenn Sie den Ohrpolster auf der linken Seite entfernen, können Sie die Informationen des IC sofort sehen.

■ Hinweise zur Verwendung

- Lesen Sie auf jeden Fall vor der Verwendung die Bedienungsanleitung des verbundenen Geräts.
- Audio-Technica haftet in keiner Weise für den unwahrscheinlichen Fall irgendwelcher Datenverluste, die in Zusammenhang mit der Benutzung dieses Produktes entstehen.
- Das Produkt ist so konstruiert, dass wiedergegebene Tonsignale zum Teil nach außen gelangen können. Halten Sie die Lautstärke in öffentlichen Verkehrsmitteln oder an anderen öffentlichen Orten niedrig, um andere Personen nicht zu stören.
- Regeln Sie die Lautstärke an Ihrem Gerät ganz herunter, bevor Sie das Produkt anschließen.
- Wenn Sie das Produkt in einer trockenen Umgebung benutzen, verspüren Sie möglicherweise ein Kribbeln in Ihren Ohren. Dies wird durch die in Ihrem Körper angesammelte statische Elektrizität verursacht und nicht durch eine Funktionsstörung des Produkts.
- Setzen Sie das Produkt keinen starken Stößen aus.
- Bewahren Sie das Produkt nicht in direktem Sonnenlicht, in der Nähe von Heizgeräten oder an heißen, feuchten oder staubigen Orten auf. Lassen Sie außerdem das Produkt nicht nass werden.
- Nach langem Gebrauch kann das Produkt Verfärbungen durch ultraviolettes Licht (insbesondere direktes Sonnenlicht) und Verschleiß aufweisen.
- Wird das Produkt in einen Beutel gelegt und USB-Ladekabel ist weiterhin angeschlossen, kann das USB-Ladekabel u. U. verheddern, reißen oder brechen.
- Halten Sie das USB-Ladekabel beim An- und Abstecken am Stecker fest. Das USB-Ladekabel kann beschädigt werden oder es kann ein Unfall ausgelöst werden, wenn Sie statt am Stecker am Kabel ziehen.
- Wenn Sie das USB-Ladekabel nicht verwenden, trennen Sie es vom Produkt.
- Wenn Sie das Produkt nicht verwenden, legen Sie es in der mitgelieferten Tasche ab.
- Dieses Produkt kann nur bei Nutzung eines Mobiltelefonnetzes zum Telefonieren verwendet werden. Die Unterstützung von Telefonie-Apps, die ein mobiles Datennetz nutzen, wird nicht garantiert.
- Wenn das Produkt in der Nähe eines elektronischen Geräts oder Senders (z. B. Mobiltelefon) verwendet wird, kann ein unerwünschtes Rauschen zu hören sein. Vergrößern Sie in diesem Fall den Abstand zwischen dem Produkt und dem elektronischen Gerät oder Sender.
- Wenn das Produkt in der Nähe einer Radioantenne verwendet wird, kann im Radiosignal ein Rauschen zu hören sein. Vergrößern Sie in diesem Fall den Abstand zwischen dem Produkt und der Radioantenne.
- Der integrierte Akku sollte zu seinem Schutz alle 6 Monate einmal frisch geladen werden. Wenn zwischen den Ladevorgängen zu viel Zeit vergeht, verringert sich die Lebensdauer des integrierten Akkus, oder der aufladbare Akku lässt sich nicht mehr laden.
- Laden Sie das Produkt an einem gut belüfteten Ort (10 bis 35 °C) und halten Sie es dabei von direktem Sonnenlicht fern. Andernfalls kann sich der Akku verschlechtern, wodurch es zu einer Verkürzung der Betriebsdauer oder Ladefehlern kommen kann.
- Wenn das Produkt durch Schweiß nass geworden ist, wischen Sie die Feuchtigkeit vor dem Laden mit einem trockenen Tuch ab.

■ Über die aktive Rauschunterdrückungsfunktion

Das Produkt ist darauf ausgelegt, mit dem eingebauten Mikrofon Geräusche aus der Umgebung (Lärm von Fahrzeugen, Lärm von Klimaanlagen usw.) aufzunehmen und zu neutralisieren, indem entsprechende Tonsignale in der negativen Phase produziert werden. Dies führt zu einer Verringerung der Geräusche aus Ihrer Umgebung.

- Die Rauschunterdrückungsfunktion des Produkts ist hauptsächlich gegen Geräusche im unteren Frequenzbereich wirksam, d. h., es werden nicht alle Geräusche unterdrückt.
- Abhängig von der Art des Rauschens (oder an ruhigen Orten) können Sie die Wirkung der Rauschunterdrückung möglicherweise nicht bemerken.
- Bei Verwendung der Rauschunterdrückungsfunktion kann ein leichtes Brummen zu hören sein. Dieses Geräusch wird von der Rauschunterdrückungsfunktion erzeugt und ist keine Fehlfunktion.
- Je nachdem, wie Sie das Produkt tragen, kann der Rauschunterdrückungseffekt variieren oder ein Heulton auftreten. Nehmen Sie das Produkt in diesen Fällen ab und setzen Sie es wieder korrekt in die Ohren ein.
- Wenn Sie das Produkt in einem Zug oder in einem Fahrzeug wie einem Bus oder LKW verwenden, kann je nach Bahnschienen-/Straßenzustand ein Geräusch zu hören sein.
- Das Produkt verfügt über ein offenes Gehäusedesign und eine Rauschunterdrückungsfunktion und ist mit einer Funktion zur Verhinderung von Rückkopplungen ausgestattet. Wenn Sie das Gehäuse mit der Hand oder einem anderen Gegenstand abdecken, wird die Funktion zur Verhinderung von Rückkopplungen aktiviert und die Rauschunterdrückungsfunktion vorübergehend deaktiviert – es handelt sich nicht um eine Fehlfunktion.

■ Das Produkt verbindet sich nicht mit einem Gerät Ⓐ

Falls die Paarung nicht abgebrochen werden kann oder fehlschlägt, können Sie den Modus „Paarung" erzwingen, um die Paarung erneut zu starten.

1. Halten Sie bei eingeschaltetem Gerät die Stromversorgungs-/Bedientaste und den Lautstärkeregler (+) gleichzeitig gedrückt (ca. 6 Sekunden).
2. Das Produkt schaltet dann in den „Gerätesuche"-Modus (Modus „Paarung") und Sie können die Paarung mit Ihrem gewünschten Bluetooth-Gerät durchführen.

■ Das Produkt funktioniert nicht ordnungsgemäß Ⓐ

Setzen Sie das Produkt zurück.

1. Halten Sie bei eingeschaltetem Gerät die beiden Lautstärkeregler (+/-) gleichzeitig gedrückt (ca. 6 Sekunden).
2. Wenn die Anzeige-LED orange leuchtet, wird das Produkt neu gestartet, und das Zurücksetzen ist abgeschlossen.
3. Entfernen Sie das Produkt aus der Liste der registrierten Geräte auf Ihrem Bluetooth-Gerät und führen Sie die Paarung erneut durch.

■ Für ein angenehmeres Kommunikationserlebnis via Bluetooth Ⓑ

Die effektive Kommunikationsreichweite dieses Produkts variiert je nach Funkwellenbedingungen.
Für eine einwandfreie Tonqualität sollten Sie die Kopfhörer in unmittelbarer Nähe zum Bluetooth-Gerät verwenden. Um Rauschen und Störungen zu minimieren, vermeiden Sie es, die Verbindung zwischen der Antenne des Produkts (L-Seite) und dem Bluetooth-Gerät durch andere Geräte oder Ihren eigenen Körper zu unterbrechen.

Italiano

Anche se questo prodotto è stato realizzato per essere utilizzato in piena sicurezza, l'uso scorretto potrebbe causare incidenti. Per garantire il massimo grado di sicurezza, osservare tutte le avvertenze e le precauzioni fornite per l'utilizzo del prodotto.

■ Precauzioni di sicurezza

Precauzioni nell'utilizzo del prodotto

- Non utilizzare il prodotto in prossimità di apparecchiature mediche. Le onde radio possono avere effetti sui pacemaker cardiaci e sulle apparecchiature elettromedicali. Non utilizzare il prodotto all'interno di strutture mediche.
- Per l'utilizzo su aeromobili, seguire le istruzioni ivi fornite.
- Non utilizzare il prodotto in prossimità di dispositivi di controllo automatico come porte automatiche o allarmi antincendio. Le onde radio possono avere effetti sulle apparecchiature elettroniche e provocare incidenti dovuti a malfunzionamento.
- Non smontare, modificare o tentare di riparare il prodotto per evitare scosse elettriche, malfunzionamenti o incendi.
- Evitare di esporre il prodotto a forti urti che potrebbero causare scariche elettriche, malfunzionamenti o incendi.
- Non manipolare il prodotto con le mani bagnate, in quanto sussiste il rischio di scosse elettriche o lesioni.
- Scollegare il prodotto dal dispositivo collegato qualora si verifichi un malfunzionamento che produca fumo, odori inusuali, calore eccessivo, rumori e qualsiasi altro segno che indichi un guasto. In tal caso, contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale.
- Non lasciare che il prodotto si bagni, poiché sussiste il rischio di scosse elettriche o malfunzionamenti.
- Non introdurre all'interno del prodotto corpi estranei quali materiali combustibili, metalli o liquidi.
- Per evitare incendi o lesioni da surriscaldamento, non coprire il prodotto con un panno.
- Attenersi alle leggi in vigore relative all'utilizzo dei telefoni cellulari e delle cuffie se si utilizzano le cuffie durante la guida.
- Non caricare la batteria se il terminale del cavo per la carica USB è piegato, allentato o danneggiato. Questo potrebbe causare generazione di calore, emissione di fumo, incendi o scosse elettriche.
- Non caricare se acqua o corpi estranei sono penetrati nel jack batteria o il cavo per la carica USB. Questo potrebbe causare corrosione, calore, fumo, incendio o altri malfunzionamenti o scosse elettriche nel jack batteria o nel cavo per la carica USB.
- Non utilizzare il prodotto in luoghi in cui l'impossibilità di udire i suoni ambientali rappresenti un serio rischio (ad esempio quando ci si trova in prossimità di un attraversamento ferroviario, in stazioni ferroviarie o cantieri edili).
- Durante la carica, assicurarsi di utilizzare il cavo per la carica USB incluso nella confezione.
- Quando si usa un adattatore di alimentazione USB disponibile in commercio o un power bank per la carica, utilizzare un dispositivo con una corrente di uscita pari a 0,25 A (250 mA) o superiore. Tuttavia, non mettere in carica con dispositivi dotati della funzionalità di carica rapida (con tensione di 5 V o superiore). Tale operazione potrebbe causare il mancato caricamento o il malfunzionamento del prodotto.
- Per evitare danni all'udito, non alzare eccessivamente il volume. L'ascolto di suoni a volume troppo elevato per un periodo prolungato potrebbe causare una perdita dell'udito temporanea o permanente.
- Interrompere l'uso se insorgono irritazioni cutanee dovute al contatto diretto con il prodotto.
- Non lasciarsi prendere le dita o altre parti del corpo tra l'alloggiamento e il braccio o all'interno dei giunti.

Precauzioni per la batteria ricaricabile

Il prodotto è munito di una batteria ricaricabile (batteria agli ioni di litio).

- Se il fluido della batteria penetra negli occhi, non sfregarli. Sciacquarli accuratamente con acqua pulita, ad esempio acqua del rubinetto, e consultare immediatamente un medico.
- Se il fluido della batteria fuoriesce, non toccarlo a mani nude. Se il fluido resta all'interno del prodotto, potrebbe causare malfunzionamenti. Se il fluido della batteria fuoriesce, contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale.
  – Se il fluido penetra in bocca, sciacquare con acqua pulita, ad esempio acqua del rubinetto, e consultare immediatamente un medico.
  – Se la pelle o gli indumenti entrano in contatto con il fluido, lavare immediatamente le parti interessate con acqua. Se insorge un'irritazione cutanea, consultare un medico.
- Per evitare perdite, generazione di calore o esplosioni:
  – Non scaldare, smontare, modificare la batteria, né smaltirla bruciandola.
  – Non tentare di forare con un chiodo, martellare o calpestare la batteria.
  – Evitare di far cadere il prodotto o di sottoporlo a forti impatti.
  – Evitare alla batteria qualsiasi contatto con l'acqua.
- Non utilizzare, lasciare o conservare la batteria nei seguenti luoghi:
  – Ambienti esposti alla luce diretta del sole o a temperature elevate e umidità
  – Interni di un'automobile sotto il sole cocente
  – In prossimità di fonti di calore quali diffusori d'aria calda
- Per evitare malfunzionamenti o incendi, ricaricare solo con il cavo USB incluso.
- La batteria ricaricabile interna di questo prodotto non può essere sostituita dall'utente. La batteria potrebbe aver raggiunto la fine della sua durata utile se il tempo di utilizzo diventa significativamente minore anche dopo una carica completa. In questo caso, la batteria deve essere riparata. Contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale per la procedura di riparazione.
- Quando il prodotto è smaltito, è necessario scartare correttamente la batteria ricaricabile incorporata. Contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale per i dettagli su come smaltire adeguatamente la batteria.

Per gli utenti
USA Avviso FCC

Avvertenza

Questo dispositivo è conforme alla Sezione 15 della normativa FCC. Il suo funzionamento è soggetto alle seguenti due condizioni: (1) Il dispositivo non deve causare interferenze nocive e, (2) il dispositivo deve accettare le interferenze ricevute, incluse quelle che potrebbero causarne un funzionamento non corretto.

Attenzione

Qualsiasi modifica apportata al prodotto dall'utente non espressamente approvata o descritta nel presente manuale può invalidarne i diritti d'uso.
Nota: Questo dispositivo è stato testato e trovato conforme ai limiti stabiliti per i dispositivi digitali di Classe B, in base a quanto descritto nella Sezione 15 della normativa FCC. Questi limiti sono stati stabiliti per offrire un ragionevole grado di protezione contro le interferenze nocive in aree residenziali. Questo dispositivo genera, utilizza e può emettere energia sotto forma di radio frequenze e, se non installato secondo le istruzioni, potrebbe causare interferenze nocive alle comunicazioni radio. Non vi è, tuttavia, alcuna garanzia che tali interferenze non si verifichino in particolari situazioni. Nel caso in cui il dispositivo dovesse interferire con la ricezione di segnali radio o televisivi, il che può essere accertato spegnendo e riaccendendo l'unità, l'utente è invitato ad adottare una o più delle seguenti contromisure:
– Riorientare o spostare l'antenna ricevente.
– Incrementare la distanza tra il dispositivo e l'apparecchio ricevitore.
– Collegare il dispositivo a una presa di corrente diversa da quella a cui è stato connesso l'apparecchio ricevente.
– Consultare il rivenditore e/o un tecnico specializzato radio/TV per assistenza.
Il presente trasmettitore non deve essere posizionato o utilizzato insieme ad altre antenne o trasmettitori impiegati in altri sistemi.
Nota: Se si rimuove il cuscinetto auricolare sul lato sinistro, si vedranno immediatamente le informazioni sull'ID FCC.

Dichiarazione relativa all'esposizione alle RF

Il presente dispositivo è conforme ai limiti stabiliti per l'esposizione alle radiazioni di RF (Radio Frequenza) in ambiente non controllato secondo quanto indicato dalla normativa FCC, rispettandone di base le linee guida fissate. Il limite SAR stabilito dalla FCC è 1,6 W/kg su 1 g di tessuto. Questo dispositivo è stato testato anche in merito al rispetto di questo limite SAR.

Contatto:

Società responsabile: Audio-Technica U.S., Inc.
Indirizzo: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
Tel: 330-686-2600

Per utenti del Canada
Dichiarazione ISED

CAN ICES(B)/NMB(B)
Questo dispositivo contiene trasmettitori/ricevitori esenti da licenza conformi agli standard RSS esenti da licenza di ISED (Innovation, Science and Economic Development) Canada. L'uso è soggetto alle seguenti condizioni:
(1) Questo dispositivo non deve causare interferenze.
(2) Questo dispositivo deve tollerare qualunque interferenza, comprese quelle che possono causare un funzionamento indesiderato del dispositivo.
Questo dispositivo è conforme ai limiti stabiliti dalle specifiche RSS-102 relative all'esposizione alle radiazioni in ambienti non controllati.
Il limite SAR stabilito da ISED è 1,6 W/kg su 1 g di tessuto. Questo dispositivo è stato testato anche in merito al rispetto di questo limite SAR.
Nota: Se si rimuove il cuscinetto auricolare sul lato sinistro, si vedranno immediatamente le informazioni sull'IC.

■ Note sull'utilizzo

- Prima dell'utilizzo, assicurarsi di aver letto il manuale dell'utente relativo al dispositivo collegato.
- Audio-Technica non sarà responsabile in alcun modo di eventuali perdite di dati, nell'improbabile caso in cui queste ultime si verifichino durante l'utilizzo del prodotto.
- Per la sua struttura, il prodotto è designato per dissipare il suono verso l'esterno. Sui mezzi pubblici o in altri luoghi pubblici, tenere il volume basso per evitare di disturbare gli altri.
- Abbassare il volume del dispositivo al minimo prima di collegare il prodotto.
- Quando si utilizza il prodotto in un ambiente secco, si potrebbe avvertire un formicolio alle orecchie. Ciò è dovuto all'elettricità statica accumulata sul corpo, non a un malfunzionamento del prodotto.
- Evitare di sottoporre il prodotto a forti impatti.
- Non conservare il prodotto alla luce diretta del sole, in prossimità di dispositivi in grado di generare calore o in ambienti caldi, umidi o polverosi. Inoltre, evitare che il prodotto entri a contatto con l'acqua.
- Quando il prodotto viene utilizzato per un periodo prolungato, può scolorirsi a causa della luce ultravioletta (soprattutto la luce diretta del sole) e dell'usura.
- Se il prodotto viene riposto in una borsa con il cavo USB di ricarica ancora inserito, il cavo potrebbe impigliarsi, rompersi o danneggiarsi.
- Nel collegare e scollegare il cavo per la carica USB, assicurarsi di tenerlo dalla spina. In caso contrario, ossia tirando il cavo, si rischia di danneggiare il cavo USB stesso o di causare incidenti.
- Quando non si utilizza il cavo per la carica USB, scollegarlo dal prodotto.
- Quando non si utilizza il prodotto, conservarlo nella custodia inclusa.
- Il prodotto può essere utilizzato per le chiamate telefoniche solo sfruttando le reti cellulari. Non è garantita la compatibilità con le app telefoniche che funzionano utilizzando la rete dati.
- Se si utilizza il prodotto in prossimità di un dispositivo elettronico o di un trasmettitore (ad esempio un telefono cellulare), è possibile che si generino delle interferenze indesiderate. In questo caso, allontanare il prodotto dal dispositivo elettronico o dal trasmettitore.
- Se si utilizza il prodotto in prossimità di un'antenna radio, è possibile che tali apparecchi generino interferenze audio. In questo caso, allontanare il prodotto dall'antenna radio.
- Per proteggere la batteria ricaricabile incorporata, ricaricarla almeno una volta ogni 6 mesi. Lasciando passare troppo tempo tra una ricarica e l'altra, il ciclo di vita della batteria ricaricabile potrebbe ridursi, oppure la batteria ricaricabile potrebbe non ricaricarsi più.
- Ricaricare il prodotto in un luogo adeguatamente ventilato (da 10 a 35°C) al riparo dalla luce diretta del sole. In caso contrario, la batteria potrebbe incorrere in usura con una possibile riduzione dei periodi di uso continuato o l'impossibilità di eseguire la ricarica.
- Se il prodotto è bagnato di sudore, assorbire l'umidità con un panno asciutto prima di caricarlo.

■ Informazioni sulla funzione di cancellazione del rumore attiva

Il prodotto è stato progettato per utilizzare il microfono incorporato per rilevare rumori dell'ambiente circostante (rumore proveniente da veicoli, condizionatori d'aria ecc.) e per annullare quel rumore producendo suoni in fase negativa. Ciò comporta una riduzione dei suoni nell'ambiente.

- La funzione di cancellazione del rumore del prodotto è principalmente efficace contro i rumori nell'intervallo di frequenza inferiore; tuttavia non tutti i rumori vengono cancellati.
- A seconda del tipo di rumore (o in luoghi tranquilli), l'utente potrebbe non notare l'effetto di cancellazione del rumore.
- È possibile avvertire un leggero ronzio quando si utilizza la funzione di cancellazione del rumore. Questo è un suono generato dalla funzione di cancellazione del rumore; non è un malfunzionamento.
- L'effetto di cancellazione del rumore può variare o può verificarsi un segnale acustico (ululato) a seconda di come si indossa il prodotto. In questi casi, togliere il prodotto e rimetterlo correttamente nelle orecchie.
- Quando si utilizza il prodotto su un treno o in un veicolo, come un autobus o un camion, è possibile che si sentano rumori a seconda delle condizioni ferroviarie/stradali.
- Il prodotto presenta un alloggiamento con design open-air e una funzione di cancellazione del rumore, ed è dotato di una funzione di prevenzione del feedback. Coprendo l'alloggiamento con la mano o con un altro oggetto si attiverà questa funzione di prevenzione del feedback, disattivando temporaneamente la funzione di cancellazione del rumore; non si tratta di un malfunzionamento.

■ Se il prodotto non si collega ad un dispositivo Ⓐ

Se l'associazione non è annullabile o non riesce, è possibile eseguire la modalità di associazione forzata per rieffettuarla.

1. Con il prodotto acceso, tenere premuti (per circa 6 secondi) contemporaneamente il pulsante di alimentazione / di controllo e il pulsante del volume (+).
2. Il prodotto passerà in modalità "ricerca dispositivi" (modalità di associazione) e sarà possibile abbinare il dispositivo Bluetooth desiderato.

■ Se il prodotto funziona in modo anomalo Ⓐ

Eseguire un reset del prodotto.

1. Con il prodotto acceso, tenere premuto (per circa 6 secondi) contemporaneamente i pulsanti del volume (+/-).
2. Dopo che l'indicatore si accende in arancione, il prodotto si riavvia e il reset è completo.
3. Eliminare il prodotto dall'elenco dei dispositivi registrati sul proprio dispositivo Bluetooth ed eseguire di nuovo l'associazione.

■ Per un'esperienza di comunicazione Bluetooth più confortevole Ⓑ

Il grado di efficacia di comunicazione di questo prodotto varia in funzione di eventuali ostruzioni e delle condizioni delle onde radio.
Per un'esperienza di ascolto più piacevole, utilizzare il prodotto più vicino possibile al dispositivo Bluetooth. Per ridurre al minimo rumori e interferenze, evitare di frapporsi o di frapporre altri ostacoli tra l'antenna del prodotto (lato L) e il dispositivo Bluetooth.

Español

Aunque este producto se ha diseñado para su uso seguro, si no lo utiliza de manera correcta puede provocar un accidente. Con el fin de garantizar la seguridad, respete todas las advertencias y precauciones mientras utiliza el producto.

■ Advertencias de seguridad

Precauciones para el producto

- No utilice el producto cerca de equipos médicos. Las ondas de radio pueden afectar a los marcapasos y a los equipos médicos electrónicos. No utilice el producto en instalaciones médicas.
- Si utiliza el producto en un avión, siga las indicaciones del personal de la línea aérea.
- No utilice el producto cerca de dispositivos de control automático, como puertas automáticas y alarmas contra incendios. Las ondas de radio pueden afectar a los equipos electrónicos y provocar accidentes debido a los fallos de funcionamiento.
- No desmonte, modifique ni intente reparar el producto, con el fin de evitar descargas eléctricas, fallos de funcionamiento o incendios.
- No someta el producto a impactos fuertes, para evitar descargas eléctricas, fallos de funcionamiento o incendios.
- No manipule el producto con las manos mojadas, para evitar descargas eléctricas o lesiones físicas.
- Desconecte el producto de un dispositivo si empieza a funcionar incorrectamente, si emite humo, olores, calor, ruidos anormales o si muestra cualquier otro síntoma de avería. En tales casos, póngase en contacto con su distribuidor de Audio-Technica local.
- No permita que el producto se moje, para evitar descargas eléctricas o fallos de funcionamiento.
- No introduzca sustancias extrañas, como materiales combustibles, objetos metálicos o líquidos, en el producto.
- No cubra el producto con un paño para evitar incendios o lesiones por sobrecalentamiento.
- Siga la legislación aplicable al uso del teléfono móvil y los auriculares si utiliza auriculares mientras conduce.
- No utilice el producto en entornos en los que la imposibilidad de escuchar el sonido ambiente genere un riesgo grave (como cruces ferroviarios, estaciones de tren y zonas en construcción).
- No cargue la batería si el terminal del cable de carga USB está doblado, suelto o dañado. De lo contrario, se podría generar calor, emisión de humo, fuego o descarga eléctrica.
- No cargue el producto si hay agua o sustancias extrañas dentro de la toma de batería o del cable de carga USB. Si lo hace, puede provocar corrosión, generación de calor, humo, fuego u otros fallos de funcionamiento o descargas eléctricas en la toma de batería o el cable de carga USB.
- Para cargar el producto, asegúrese de usar el cable de carga USB incluido.
- Cuando utilice un adaptador de corriente USB o una batería portátil para cargar disponible en el mercado, utilice un dispositivo con una corriente de salida de 0,25 A (250 mA) o superior. Sin embargo, no cargue con dispositivos que tenga funcionalidad de carga rapida (con un voltaje de 5 V o superior). De lo contrario, el producto podría no cargarse o funcionar mal.
- No escuche a volúmenes demasiado elevados, para evitar daños en su capacidad auditiva. Escuchar un sonido demasiado alto durante un periodo de tiempo prolongado podría provocar pérdidas de audición temporales o permanentes.
- Deje de usar el producto si sufre irritación cutánea debido al contacto directo con el mismo.
- No se pille los dedos ni otras partes del cuerpo entre la carcasa y el brazo o dentro de las juntas.

Precauciones relativas a la batería recargable

Este producto está equipado con una batería recargable (batería de iones de litio).

- Si el fluido de la batería entra en contacto con los ojos, no se los frote. Enjuáguelos abundantemente con agua limpia, como agua del grifo, y póngase en contacto con un médico inmediatamente.
- Si se producen fugas de fluido de la batería, no toque el fluido con las manos descubiertas. Si el fluido permanece en el interior del producto, pueden producirse fallos de funcionamiento. Si se produce una fuga del fluido de la batería, póngase en contacto con su distribuidor de Audio-Technica local.
  – Si el fluido entra en contacto con su boca, haga gárgaras abundantemente con agua limpia, como agua del grifo, y póngase en contacto con un médico inmediatamente.
  – Si su piel o la ropa entran en contacto con el fluido, lave inmediatamente la piel o la ropa afectadas con agua. Si sufre irritación cutánea, póngase en contacto con un médico.
- Para evitar fugas, generación de calor o explosiones:
  – Nunca caliente, desmonte ni modifique la batería, ni tampoco la arroje al fuego.
  – No intente perforar la batería con un clavo, no la golpee con un martillo ni la pise.
  – No deje caer el producto ni lo someta a golpes fuertes.
  – No moje la batería.
- No utilice, coloque ni guarde la batería en los siguientes lugares:
  – Áreas expuestas a la luz solar directa o a altas temperaturas y humedad
  – En el interior de un coche, bajo el sol abrasador
  – Cerca de fuentes de calor como acumuladores de calor
- Cargar solo con el cable USB incluido para evitar fallos de funcionamiento o incendios.
- El usuario no puede sustituir la batería recargable interna de este producto. La batería puede haber alcanzado el final de su vida útil si el tiempo de uso pasa a ser significativamente más breve incluso después de haberla cargado totalmente. En este caso, la batería deberá repararse. Consulte los detalles de la reparación con su distribuidor de Audio-Technica local.
- Al deshacerse del producto, la batería recargable integrada se debe desechar de una forma adecuada. Póngase en contacto con su distribuidor de Audio-Technica local para que le indique las instrucciones correctas para desechar la batería.

Para los clientes de los Estados Unidos
Aviso de la FCC

Advertencia

Este dispositivo cumple con la sección 15 de las Reglas de la FCC. El funcionamiento está sujeto a las dos condiciones siguientes: (1) Este dispositivo no debe provocar interferencias dañinas, y (2) este dispositivo debe aceptar todas las interferencias recibidas, incluidas aquellas que provoquen un funcionamiento no deseado.

Precaución

Tenga en cuenta que los cambios o modificaciones no autorizados de forma expresa en este manual pueden anular la autorización de uso del equipo.

Nota: Este equipo ha sido sometido a pruebas y se ha constatado que cumple con los límites de un dispositivo digital de Clase B según lo expuesto en la sección 15 de las Reglas de la FCC. Estos límites están diseñados para proporcionar una protección razonable contra interferencias dañinas en una instalación residencial. Este equipo genera, utiliza y puede irradiar energía de radiofrecuencia y, si no se instala y utiliza según las instrucciones, puede provocar interferencias dañinas para las comunicaciones de radio. Sin embargo, no hay garantía de que no se produzcan interferencias en una instalación particular. Si este equipo provoca interferencias dañinas para la recepción de la señal de radio o televisión, situación que puede determinarse apagando y encendiendo el equipo, se recomienda al usuario que intente corregir la interferencia adoptando una o más de las siguientes medidas:

- Reoriente la antena receptora o cámbiela de lugar.
- Aumente la separación entre el equipo y el aparato receptor.
- Conecte el equipo a una toma de corriente de un circuito distinto al que está conectado el receptor.
- Solicite ayuda al distribuidor o a un técnico de radio o televisión especializado.

Este transmisor no debe utilizarse junto con la antena ni el transmisor que se utilicen en otros sistemas, ni tampoco colocarse cerca de tales elementos.
Nota: Si retira la almohadilla del lado izquierdo, podrá ver inmediatamente la información del ID de FCC.

Declaración de exposición a radiofrecuencia

Este dispositivo cumple con los límites de exposición a radiación impuestos por la FCC para un entorno no controlado, y cumple con las directrices de exposición a radiofrecuencia (RF) de la FCC. El límite SAR de FCC es de 1g 1,6 W/kg. Este dispositivo también ha sido sometido a pruebas con respecto a este límite SAR.

Contacto:
Empresa responsable: Audio-Technica U.S., Inc.
Dirección: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, EE. UU.
Tel.: 330-686-2600

Para clientes de Canadá
Declaración de conformidad ISED
CAN ICES(B)/NMB(B)
Este dispositivo contiene uno o varios transmisor(es)/receptor(es) exento(s) de licencia que cumple(n) con las normas RSS exentas de licencia del Ministerio de Innovación, Ciencia y Desarrollo Económico de Canadá. Su funcionamiento está sujeto a las dos condiciones siguientes:
(1) Este dispositivo no deberá causar ninguna interferencia.
(2) Este dispositivo debe aceptar todo tipo de interferencia, incluida aquella que pudiera provocar inconvenientes en su funcionamiento.
Este dispositivo cumple con los límites de exposición a la radiación RSS-102 para un entorno no controlado.
El límite SAR de ISED es de 1g 1,6 W/kg. Este dispositivo también ha sido sometido a pruebas con respecto a este límite SAR.
Nota: Si retira la almohadilla del lado izquierdo, podrá ver inmediatamente la información de IC.

■ Notas sobre el uso

- Lea el manual de usuario del dispositivo conectado antes de utilizarlo.
- Audio-Technica se exime de toda la responsabilidad derivada de la pérdida de datos en el poco probable caso de que dichas pérdidas se produzcan durante el uso del producto.
- El producto está diseñado para disipar fácilmente el ruido hacia el exterior. En los sistemas de transporte público y en otros lugares públicos, mantenga el volumen a un nivel bajo para no molestar al resto de personas.
- Reduzca al mínimo el volumen del dispositivo antes de conectar el producto.
- Cuando utilice el producto en un entorno seco podría experimentar una sensación de hormigueo en las orejas. Esta sensación está provocada por la electricidad estática acumulada en su cuerpo, no por un fallo de funcionamiento del producto.
- No someta el producto a golpes fuertes.
- No guarde el producto bajo la luz solar directa, cerca de dispositivos de calefacción ni en lugares calurosos, húmedos o polvorientos. Igualmente, el producto no debe mojarse.
- Cuando el producto se usa durante un periodo de tiempo prolongado, puede decolorarse debido a la luz ultravioleta (especialmente la luz solar directa) y el desgaste.
- Si el producto se coloca en una bolsa cuando el cable de carga USB todavía conectado, dicho cable puede quedar atrapado, cortado o roto.
- Sujete siempre el conector cuando conecte y desconecte el cable de carga USB. El cable de carga USB podría cortarse o podría producirse un accidente si se tira del propio cable.
- Si no utiliza el cable de carga USB, desconéctelo del producto.
- Cuando no esté usando el producto, guárdelo en la bolsa incluida.
- Este producto puede utilizarse para hablar por teléfono sólo si se utiliza una red de telefonía móvil. No puede garantizarse la compatibilidad con aplicaciones de telefonía que utilizan una red de datos móvil.
- Si utiliza el producto cerca de un dispositivo electrónico o de un transmisor (como un teléfono móvil), es posible que se escuchen ruidos anormales. En este caso, aleje el producto del dispositivo electrónico o del transmisor.
- Si utiliza el producto cerca de una antena de radio, puede generarse ruido en la señal de radio. En este caso, aleje el producto de la antena de radio.
- Para proteger la batería recargable, cárguela al menos una vez cada seis meses. Si deja transcurrir demasiado tiempo entre carga y carga, es posible que se reduzca la vida útil de la batería recargable o incluso que no pueda volver a cargarse.
- Cargue el producto en un lugar bien ventilado (10 a 35 °C), apartado de la luz solar directa. De lo contrario, la batería puede deteriorarse, lo que puede dar lugar a períodos más cortos de uso continuo o puede fallar al cargarse.
- Si el producto está mojado de sudor, limpie la humedad con un paño seco antes de cargarlo.

■ Acerca de la función de cancelación de ruido activa

El producto está diseñado para utilizar su micrófono integrado para captar el ruido del entorno circundante (ruido de vehículos, ruido de aires acondicionados, etc.) y cancelar ese ruido produciendo sonidos en la fase negativa. Esto provoca una reducción en el sonido de su entorno.

- La función de cancelación de ruido del producto es eficaz sobre todo contra los ruidos en el rango de frecuencias más bajas, pero no todos los ruidos se cancelan.
- Dependiendo del tipo de ruido (o en lugares silenciosos), puede que no note el efecto de cancelación de ruido.
- Es posible que se oiga un ligero zumbido al utilizar la función de cancelación de ruido. Este es el sonido de la función de cancelación de ruido; no es un funcionamiento incorrecto.
- Dependiendo de cómo se ponga el producto, el efecto de cancelación de ruido puede variar o puede producirse un pitido (sirena). En tales casos, quítese el producto y vuelva a ponérselo correctamente.
- Cuando el producto se utiliza en un tren o en un vehículo, como pudiera ser un autobús o un camión, es posible que se oiga ruido según el estado de las vías o de la calle.
- El producto cuenta con un diseño de carcasa abierta y función de cancelación de ruido, y está equipado con una función de prevención de la retroalimentación. Si se cubre la carcasa con la mano u otro objeto, se activará esta función de prevención de la retroalimentación, desactivando temporalmente la función de cancelación de ruido. No se trata de un fallo de funcionamiento.

■ Si el producto no se conecta a un dispositivo (A)

Si el emparejamiento no se puede cancelar o no se produce correctamente, puede utilizar el modo de emparejamiento forzado para realizar de nuevo el emparejamiento.

1. Con el producto encendido, mantenga pulsados (unos 6 segundos) el botón de alimentación/control y el botón de volumen (+) al mismo tiempo.
2. El producto pasará al estado “Búsqueda de dispositivos” (modo de emparejamiento) y podrá emparejarlo con el dispositivo Bluetooth deseado.

■ Si el producto funciona de manera anómala (A)

Reinicie el producto.

1. Con el producto encendido, mantenga pulsados (unos 6 segundos) los botones de volumen (+/-) al mismo tiempo.
2. Después de que la luz indicadora se ilumine en naranja, el producto se reiniciará y el restablecimiento se habrá completado.

■ Para disfrutar de una comunicación Bluetooth más agradable (B)

El alcance efectivo de comunicación de este producto varía según los obstáculos y el estado de las ondas de radio.
Para obtener una experiencia más agradable, utilice el producto lo más cerca posible al dispositivo Bluetooth. Para reducir al máximo los ruidos y las interrupciones del sonido, procure no colocar el cuerpo ni ningún otro obstáculo entre la antena del producto (lado L) y el dispositivo Bluetooth.

Português

Embora este produto tenha sido projetado para um uso seguro, o uso indevido poderá resultar em acidentes. Para garantir a segurança, respeite todos os avisos e precauções ao usar o produto.

■ Precauções de segurança

Precauções para o produto

- Não use o produto perto de equipamentos médicos. As ondas de rádio podem afetar marca-passos cardíacos e equipamentos médicos eletrônicos. Não use o produto dentro de instalações médicas.
- Ao usar o produto numa aeronave, siga as instruções da companhia aérea.
- Não use o produto perto de dispositivos de controle automáticos como portas automáticas e alarmes de incêndio. As ondas de rádio podem afetar os equipamentos eletrônicos e causar acidentes devido a um mau funcionamento.
- Não desmonte, não modifique nem tente reparar o produto para evitar um choque elétrico, mau funcionamento ou fogo.
- Não sujeite o produto a impactos fortes para evitar um choque elétrico, mau funcionamento ou fogo.
- Não manuseie o produto com as mãos molhadas para evitar um choque elétrico ou ferimentos.
- Desconecte o produto de um dispositivo se o produto começar a apresentar mau funcionamento, fumaça, cheiro, calor ou ruídos indesejados ou começar a mostrar outros sinais de dano. Neste caso, entre em contato com o seu revendedor local da Audio-Technica.
- Não permita que o produto seja molhado para evitar um choque elétrico ou mau funcionamento.
- Não coloque materiais estranhos como combustíveis, metal ou líquido no produto.
- Não cubra o produto com um pano para evitar o risco de incêndio ou de lesões por superaquecimento.
- Siga as leis aplicáveis relevantes ao uso de celulares e fones de ouvido se você for usar os fones de ouvido ao dirigir um veículo.
- Não use o produto em lugares em que a incapacidade de ouvir o som ambiente represente um risco sério (como passagens de nível, estações de trem e locais de construção).
- Não carregue a bateria se o terminal do cabo de carga USB estiver dobrado, solto ou danificado. Proceder dessa forma pode causar geração de calor, emissão de fumaça, incêndio ou choque elétrico.
- Não carregue o produto se houver água ou materiais estranhos dentro do jack da bateria ou do cabo de carga USB. Proceder dessa forma pode causar corrosão, geração de calor, fumaça, incêndio ou outro mau funcionamento ou choque elétrico no jack da bateria ou no cabo de carga USB.
- Durante o carregamento, certifique-se de usar o cabo de carga USB fornecido.
- Ao usar um adaptador de energia ou carregador portátil USB vendido comercialmente para carregamento, use um dispositivo com uma corrente de saída de 0,25 A (250 mA) ou superior. No entanto, não realize cargas com dispositivos que tenham a funcionalidade de carregamento rápido (com uma voltagem de 5 V ou mais). Proceder dessa forma pode resultar em falha de carregamento ou mau funcionamento do produto.
- Para evitar danos à sua audição, não eleve o volume demasiadamente. Ouvir sons com volume alto durante um longo período de tempo pode causar a perda temporária ou permanente da audição.
- Pare de usar se sentir alguma irritação na pele decorrente do contato direto com o produto.
- Não prenda os dedos ou outras partes do corpo entre a carcaça e o braço ou dentro das articulações.

Precauções para a bateria recarregável

O produto é equipado com uma bateria recarregável (bateria de íon de lítio).

- Se o fluido de bateria entrar em contato com os olhos, não os esfregue. Lave bem os olhos com água limpa, como água de torneira, e consulte um médico imediatamente.
- Se o fluido de bateria vazar, não toque no fluido com as mãos nuas. Se o fluido permanecer dentro do produto, ele pode causar um mau funcionamento. Se o fluido de bateria vazar, contate o seu revendedor local da Audio-Technica.
  - Se o fluido entrar em contato com sua boca, lave bem fazendo um gargarejo com água limpa, como água de torneira, e consulte um médico imediatamente.
  - Se a sua pele ou roupa entrar em contato com o fluido, lave imediatamente a área afetada com água. Se você sentir alguma irritação na pele, consulte um médico.
- Para evitar vazamento, geração de calor ou explosão:
  - Nunca aqueça, desmonte ou modifique a bateria, nem a elimine ao fogo.
  - Não tente furar com um prego, não bata com um martelo, nem pise na bateria.
  - Não derrube ou submeta o produto a fortes impactos.
  - Não deixe a bateria ser molhada.
- Não use, deixe ou guarde a bateria nos seguintes lugares:
  - Área exposta à luz direta do sol ou em condições de alta temperatura ou umidade
  - Dentro de um carro sob o sol escaldante
  - Perto de fontes de calor como saídas de ar quente
- Carregue somente com o cabo USB fornecido para evitar um mau funcionamento ou fogo.
- A bateria interna recarregável deste produto não pode ser substituída pelo usuário. A bateria pode ter atingido o fim de sua vida útil de serviço se o seu tempo de funcionamento tornar-se significativamente mais curto mesmo depois de ter sido completamente carregada. Neste caso, a bateria precisa de reparo. Entre em contato com seu revendedor local da Audio-Technica para informações sobre reparos.
- Ao eliminar o produto, a bateria recarregável embutida precisa ser descartada adequadamente. Entre em contato com seu revendedor local da Audio-Technica para saber como descartar corretamente a bateria.

Para clientes nos EUA
Aviso da FCC

Advertência
Este dispositivo está em conformidade com a Parte 15 dos Regulamentos da FCC. A operação está sujeita às duas seguintes condições: (1) Este dispositivo não pode causar interferência prejudicial e (2) deve aceitar qualquer interferência recebida, inclusive interferência que possa causar uma operação indesejada.

Atenção
Avisamos o usuário de que quaisquer alterações ou modificações não aprovadas expressamente neste manual podem anular a sua autoridade de operar este equipamento.
Nota: Este equipamento foi testado e foi verificado que cumpre com os limites para um dispositivo digital de Classe B, de acordo com a Parte 15 dos Regulamentos da FCC. Esses limites são concebidos para proporcionar uma proteção razoável contra interferências prejudiciais em uma instalação residencial. Este equipamento gera, emprega e pode radiar energia de radiofrequência e, se não for instalado e usado de acordo com as instruções, pode causar interferência prejudicial às comunicações de rádio. No entanto, não há garantia de que não ocorra nenhuma interferência em uma instalação particular. Se este equipamento causar uma interferência prejudicial à recepção de rádio ou televisão, que pode ser determinada pela operação de desligar e ligar o equipamento, o usuário deve tentar corrigir a interferência tomando uma ou mais das seguintes medidas:

- Reoriente ou reposicione a antena de recepção.
- Aumente a separação entre o equipamento e o receptor.
- Conecte o equipamento a uma tomada elétrica em um circuito diferente do qual o receptor está conectado.
- Consulte o seu revendedor ou um técnico de rádio/TV experiente para ajuda.

Este transmissor não deve ser colocado nem operado junto com nenhuma outra antena ou transmissor usado em outros sistemas.
Nota: Se você retirar a espuma do lado esquerdo, poderá ver imediatamente as informações do ID da FCC.

Declaração de Exposição à Radiofrequência

Este dispositivo está em conformidade com os limites de exposição a radiações da FCC estabelecidos para um ambiente não controlado, bem como está em conformidade com as Diretrizes de Exposição à Radiofrequência (RF) da FCC. O limite de SAR da FCC é de 1,6 W/kg em 1 g. Este dispositivo também foi testado em relação a esse limite de SAR.

Contato:
Empresa responsável: Audio-Technica U.S., Inc.
Endereço: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, EUA
Tel.: 330-686-2600

Para clientes no Canadá
Declaração do ISED
CAN ICES(B)/NMB(B)
Este dispositivo contém transmissor(es)/receptor(es) isento(s) de licença em conformidade com as especificações-padrão (RSS) isentas de licença do Ministério da Inovação, Ciência e Desenvolvimento Econômico do Canadá. O seu funcionamento está sujeito às duas condições seguintes:
(1) Este dispositivo não pode causar interferência.
(2) Este dispositivo deve aceitar qualquer interferência, incluindo interferências que podem causar seu funcionamento indesejado.
Este dispositivo está de acordo com a norma RSS-102 de limites de exposição à radiação estabelecidos para um ambiente não controlado.
O limite de SAR do ISED é de 1,6 W/kg em 1 g. Este dispositivo também foi testado em relação a esse limite de SAR.
Nota: Se você retirar a espuma do lado esquerdo, poderá ver imediatamente as informações do IC.

■ Notas sobre o uso

- Sempre leia o manual do usuário do dispositivo conectado antes do uso.
- A Audio-Technica não será responsável de nenhuma maneira por qualquer perda de dados no caso improvável de que tais perdas possam ocorrer durante o uso do produto.
- O produto foi projetado para dissipar facilmente o ruído para o exterior. Em sistemas de transporte público ou em outros lugares públicos, mantenha o volume baixo para não perturbar as pessoas à sua volta.
- Diminua o volume de seu dispositivo antes de conectar o produto.
- Ao usar o produto em um ambiente seco, você pode sentir uma sensação de formigamento em seus ouvidos. Isso é causado pela eletricidade estática acumulada no seu corpo, e não indica um mau funcionamento do produto.
- Não submeta o produto a fortes impactos.
- Não guarde o produto sob a luz direta do sol, perto de dispositivos de aquecimento nem em lugares quentes, úmidos ou com presença de poeira. E não molhe o produto.
- Ao usar o produto durante um longo período de tempo, o produto pode se descolorir devido à luz ultravioleta (especialmente a luz direta do sol) ou ao desgaste.
- Se o produto for inserido em uma bolsa enquanto o cabo de carga USB estiver conectado, o cabo de carga USB pode ficar preso, ser danificado ou quebrado.
- Certifique-se de segurar no plugue ao conectar e desconectar o cabo de carga USB. O cabo de carga USB pode ser danificado ou pode ocorrer um acidente se, ao puxar o cabo, você não usar o plugue como apoio.
- Quando não estiver usando o cabo de carga USB fornecido, desconecte-o do produto.
- Quando você não estiver usando o produto, armazene-lo na bolsa incluída.
- Este produto pode ser usado para falar ao telefone apenas usando a rede de telefonia celular. Não garantimos a compatibilidade com aplicativos de telefonia que usam a rede de dados móveis.
- Usar o produto perto de um dispositivo eletrônico ou transmissor (como um celular) pode causar ruídos indesejados. Neste caso, afaste o produto do dispositivo eletrônico ou transmissor.
- Usar o produto perto de uma antena de rádio pode causar ruídos de áudio no sinal de rádio. Nesse caso, afaste o produto da antena de rádio.
- Para proteger a bateria recarregável embutida, recarregue-a pelo menos uma vez a cada seis meses. Muito tempo entre uma recarga e outra pode reduzir a vida da bateria recarregável ou fazer com que a bateria recarregável perca a capacidade de segurar a carga.
- Carregue o produto em local bem ventilado (10 a 35 °C), longe da luz direta do sol. Caso contrário, a bateria pode se deteriorar, resultando possivelmente em períodos mais curtos de utilização contínua ou em falha no carregamento.
- Se o produto estiver molhado com suor, limpe qualquer umidade com um pano seco antes de carregar.

■ Sobre a função de cancelar ruído ativa

O produto foi projetado para usar seu microfone embutido para ruídos do ambiente ao redor (ruído de veículos, ruídos de ar condicionado, etc.) e para cancelar aquele ruído, produzindo sons em fase negativa. Isso resulta em uma redução nos sons no seu ambiente.

- A função de cancelamento de ruído do produto é principalmente eficaz contra ruídos na faixa de baixa frequência, mas nem todos os ruídos são cancelados.
- Dependendo do tipo de ruído (ou em locais tranquilos), você pode não perceber o efeito da função de cancelar ruído.
- Um leve zumbido pode ser ouvido quando se utiliza a função de cancelamento de ruído. Esse é um som gerado pela função de cancelamento de ruído; não é um mau funcionamento.
- O efeito de cancelamento de ruído pode variar ou pode ocorrer um bipe (como um uivo) dependendo de como você usar o produto. Nesses casos, tire e coloque o produto nas orelhas novamente de forma correta.
- Ao usar o produto em um trem ou veículo, como carro ou ônibus, ruídos podem ser ouvidos dependendo das condições dos trilhos/estradas.
- O produto apresenta um design de cavidade aberta e função de cancelamento de ruído, além de ser equipado com uma função de prevenção de feedback. Cobrir a cavidade com a mão ou outro objeto ativará essa função de prevenção de feedback, desativando temporariamente a função de cancelamento de ruído; isso não é um mau funcionamento.

■ Se o produto não se conectar a um dispositivo (A)

Se o emparelhamento não puder ser cancelado ou não for bem-sucedido, você pode usar o modo de emparelhamento forçado para realizá-lo novamente.

1. Com o produto ligado, pressione e mantenha pressionados (por cerca de 6 segundos) o botão de controle/fonte de energia e o botão de volume (+) ao mesmo tempo.
2. O produto passará para o estado “busca por dispositivos” (modo de emparelhamento) e você poderá emparelhar com o dispositivo Bluetooth desejado.

■ Se o produto funcionar de forma anormal (A)

Reinicialize o produto.

1. Com o produto ligado, pressione e mantenha pressionados (por cerca de 6 segundos) os botões de volume (+/-) ao mesmo tempo.
2. Depois que o indicador se acender em laranja, o produto será reinicializado e a reinicialização estará concluída.
3. Remova o produto da lista de dispositivos registrados no seu dispositivo Bluetooth e realize o emparelhamento novamente.

■ Para uma experiência de comunicação Bluetooth mais confortável (B)

O alcance eficaz de comunicação deste produto varia de acordo com as obstruções e condições das ondas de rádio.
Para uma experiência mais agradável, use o produto o mais próximo possível do dispositivo Bluetooth. Para minimizar ruídos e interrupções de som, evite posicionar seu corpo ou outros obstáculos entre a antena do produto (lado E) e o dispositivo Bluetooth.

Русский

Несмотря на то, что конструкция данного изделия обеспечивает безопасность его использования, неправильное использование может привести к несчастному случаю. Для обеспечения безопасности соблюдайте все предупреждения и предостережения во время использования данного изделия.

■ Меры предосторожности

Предостережения относительно изделия

- Запрещается использовать данное изделие рядом с медицинским оборудованием. Радиоволны могут оказать влияние на кардиостимуляторы и медицинское электронное оборудование. Запрещается использовать данное изделие в медицинских учреждениях.
- Используя изделие в самолете, придерживайтесь указаний авиакомпании.
- Запрещается использовать данное изделие рядом с устройствами автоматического управления, например автоматическими дверями и пожарными сигнализациями. Радиоволны могут оказать влияние на электронное оборудование и привести к несчастным случаям в результате нарушения его работы.
- Не разбирайте, не модифицируйте и не пытайтесь отремонтировать изделие во избежание поражения электрическим током, нарушения работы или возгорания.
- Не подвергайте изделие сильным ударам во избежание поражения электрическим током, нарушения работы или возгорания.
- Не беритесь за изделие влажными руками во избежание поражения электрическим током или получения травмы.
- Отсоедините изделие от устройства, если изделие функционирует неправильно, при его работе выделяется дым, неприятный запах, тепло или ненужный шум, а также наблюдаются другие признаки повреждения. В таком случае обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.
- Не допускайте попадания в изделие влаги во избежание поражения электрическим током или нарушения работы.
- Не допускайте попадания в изделие посторонних предметов, например горючих материалов, металла или жидкости.
- Не накрывайте изделие одеждой во избежание возгорания или получения травмы в результате перегрева.
- Выполняйте соответствующие законы, касающиеся использования мобильных телефонов и наушников при использовании наушников во время управления автомобилем.
- Не используйте изделие в местах, где неспособность слышать звуковое окружение создает серьезный риск (например, на железнодорожных переездах, вокзалах и строительных площадках).
- Не заряжайте батарею, если коннектор USB-кабеля для зарядки деформирован, не зафиксирован или поврежден. В противном случае возможен нагрев устройства, а также возникновение дыма, огня или удар электрическим током.
- Не заряжайте изделие, если внутри разъема батареи или USB-кабеля для зарядки находится влага или посторонний предмет. В противном случае возможна коррозия, нагрев устройства, появление дыма, возгорание, иная неисправность разъема батареи или USB-кабеля для зарядки либо поражение электрическим током.
- Для зарядки изделия используйте прилагаемый USB-кабель.
- Если для зарядки используется доступный в продаже адаптер питания USB или портативное зарядное устройство, используйте устройство с выходным током 0,25 A (250 мА) или выше. Однако не используйте их для зарядки устройств с функцией быстрой зарядки (напряжение зарядки 5 В или выше). Это может привести к сбою зарядки или неисправности изделия.
- Во избежание нарушения слуха не устанавливайте слишком высокую громкость. Прослушивание на высокой громкости в течение длительного времени может привести к временной или постоянной потере слуха.
- Прекратите использование при возникновении раздражения кожи в результате прямого контакта с изделием.
- Будьте внимательны, чтобы не защемить пальцы или другие части тела между корпусом и дужкой или в шарнирных соединениях.

Предостережения относительно аккумулятора

Данное изделие оснащено аккумулятором (литий-ионной батареей).

- Не трите глаза при попадании в них электролита. Тщательно промойте их чистой водой (например, водопроводной) и немедленно обратитесь к врачу.
- В случае утечки электролита не прикасайтесь к нему голыми руками. Если электролит останется внутри изделия, это может привести к неисправности. В случае утечки электролита обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.
  - При попадании электролита в рот тщательно промойте его чистой водой (например, водопроводной) и немедленно обратитесь к врачу.
  - При попадании электролита на кожу или одежду немедленно промойте этот участок кожи или одежды водой. При возникновении раздражения кожи обратитесь к врачу.
- Меры по предотвращению утечки электролита, выделения тепла или взрыва:
  - Ни в коем случае не нагревайте, не разбирайте и не модифицируйте батарею, а также не выбрасывайте ее в огонь.
  - Не пытайтесь пробить батарею гвоздем, разбить молотком или наступить на нее.
  - Не роняйте изделие и не подвергайте его сильным ударам.
  - Следите за тем, чтобы батарея не намокла.
- Не используйте, не оставляйте и не храните батарею в следующих местах:
  - в местах, находящихся под воздействием прямого солнечного света или высоких температур и влажности;
  - внутри автомобиля под ослепительным солнцем;
  - вблизи источников тепла, например обогревателей.
- Во избежание нарушения работы или возгорания выполняйте зарядку только с помощью прилагаемого USB-кабеля.
- Встроенный аккумулятор данного изделия нельзя заменять самостоятельно. Если время использования значительно сократилось, даже если батарея полностью заряжена, возможно, срок эксплуатации батареи истек. В этом случае батарея подлежит ремонту. Чтобы получить сведения о ремонте, обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.
- При утилизации изделия, встроенный аккумулятор следует утилизировать надлежащим образом. Чтобы получить сведения о надлежащей утилизации батареи, обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.

Для пользователей в США
Уведомление FCC

Предупреждение
Данное устройство соответствует требованиям Раздела 15 Правил Федеральной комиссии по связи (FCC). Эксплуатация осуществляется при соблюдении приведенных ниже двух условий. (1) Данное устройство не должно создавать недопустимых помех, и (2) данное устройство должно противостоять любым принимаемым помехам, включая помехи, которые могут вызывать нарушения в работе при эксплуатации.

Предостережения
Вы предупреждены о том, что любые изменения или модификации, в явной форме не разрешенные в данном руководстве, могут привести к аннулированию вашего права на эксплуатацию данного оборудования.
Примечание: Данное оборудование было протестировано и признано соответствующим ограничениям для цифрового устройства Класса B согласно раздела 15 Правил FCC. Данные ограничения предназначены для обеспечения надлежащей защиты от недопустимых помех при установке в жилых помещениях. Данное оборудование генерирует, использует и может излучать энергию электромагнитного излучения, которая, в случае нарушения данных инструкций при установке и использовании, может создавать недопустимые помехи для радиосвязи. Однако не существует гарантий того, что помехи не возникнут при определенной установке. Если данное оборудование вызывает недопустимые помехи во время радио или телевизионного приема, что можно определить путем его выключения и включения, пользователь может попытаться устранить эти помехи с помощью одной или нескольких мер, указанных ниже.

- Измените ориентацию или положение принимающей антенны.
- Увеличьте расстояние между оборудованием и приемником.
- Подключите оборудование к розетке в цепи, отличной от той, к которой подключен приемник.
- Обратитесь к дилеру или квалифицированному специалисту по обслуживанию радио/телевизионной техники.

Данный передатчик не должен находиться рядом или эксплуатироваться с какой-либо другой антенной или передатчиком, используемым в других системах.
Примечание: Если снять подушечку для наушников с левой стороны, можно сразу увидеть информацию об идентификаторе FCC.

Заявление об РЧ облучении

Данное устройство соответствует ограничениям радиоактивного облучения FCC, установленным для неуправляемой среды, и руководствам радиочастотного (РЧ) облучения FCC. Предел SAR, заданный Федеральной комиссией по связи (FCC), составляет 1,6 Вт/кг на 1 г. Данное устройство также было протестировано на соответствие этому предельному значению SAR.

Контакты:
Ответственная компания: Audio-Technica U.S., Inc.
Адрес: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA (США)
Тел: 330-686-2600

Для пользователей в Канаде
Заявление Министерства промышленности Канады (ISED)
CAN ICES(B)/NMB(B)
Это устройство содержит передатчик(-и)/приемник(-и), не требующие лицензии, которые соответствуют требованиям RSS-стандартов Министерства промышленности Канады для нелицензируемого оборудования. Эксплуатация осуществляется при соблюдении приведенных ниже двух условий:
(1) Это устройство не должно создавать недопустимых помех.
(2) Это устройство должно воспринимать любые помехи, в том числе помехи, которые могут вызвать нежелательную работу устройства.
Данное устройство соответствует ограничениям радиоактивного облучения RSS-102, установленным для неуправляемой среды.
Предел SAR, заданный Министерством промышленности Канады (ISED), составляет 1,6 Вт/кг на 1 г. Данное устройство также было протестировано на соответствие этому предельному значению SAR.
Примечание: Если снять подушечку для наушников с левой стороны, можно сразу увидеть информацию об IC.

■ Примечания относительно использования

- Обязательно прочтите руководство пользователя подсоединенного устройства перед его эксплуатацией.
- Компания Audio-Technica никоим образом не несет ответственности за любые потери данных в случае возникновения такого маловероятного события во время использования данного изделия.
- Изделие с легкостью рассеивает шум в окружающую среду. Не превышайте громкость в общественном транспорте или в других общественных местах, чтобы не мешать другим людям.
- Перед подсоединением этого изделия снизьте до минимума громкость своего устройства.
- При использовании данного изделия в сухой окружающей среде в ушах может возникать покалывающее ощущение. Это вызвано статическим электричеством, накапливающимся на вашем теле, а не нарушением работы изделия.
- Не подвергайте изделие сильным ударам.
- Не храните изделие под прямым солнечным светом, рядом с нагревательными приборами либо в жарких, влажных или пыльных местах. Кроме того, не позволяйте изделию намокать.
- При использовании изделия в течение длительного времени возможно его обесцвечивание под воздействием ультрафиолетового света (особенно под прямым солнечным светом) и изнашивания.
- Если изделие помещается в футляр с подсоединенным USB-кабелем для зарядки, то возможны защемление, пережатие или обрыв кабеля.
- Подсоединяйте и отсоединяйте прилагаемый USB-кабель для зарядки, взявшись за штекер. Если потянуть непосредственно за прилагаемый USB-кабель для зарядки, это может привести к его обрыву или несчастному случаю.
- Обязательно отсоединяйте прилагаемый USB-кабель для зарядки от изделия, если он не используется.
- Если изделие не используется, храните его в прилагаемой сумке.
- Данное изделие можно использовать для телефонных звонков, только когда используется мобильная телефонная сеть. Не гарантируется поддержка телефонных приложений, использующих мобильную сеть передачи данных.
- Если изделие используется возле электронного устройства или передатчика (например, мобильного телефона), могут возникать помехи. В этом случае отодвиньте изделие от электронного устройства или передатчика.
- Если изделие используется рядом с радиоантенной, то в радиосигнале могут быть слышны помехи. В этом случае переместите изделие подальше от радиоантенны.
- Для защиты встроенного аккумулятора заряжайте его по крайней мере один раз в 6 месяцев. Если между зарядками проходит слишком много времени, срок эксплуатации аккумулятора может уменьшиться либо аккумулятор может не заряжаться.
- Заряжайте изделие в хорошо вентилируемом месте (10–35 °C) вдали от прямого солнечного света. Несоблюдение этого правила может привести к ухудшению эксплуатационных характеристик батареи, в частности, к уменьшению объема заряда или невозможности зарядки.
- Если изделие влажное от пота, сотрите влагу сухой тряпкой перед зарядкой.

■ Описание функции активного шумоподавления

Изделие спроектировано таким образом, что встроенный микрофон определяет шум окружающей среды (шум автомобилей, шум работы кондиционера и т. д.) и убирает его, воспроизводя звуки с перевернутой фазой. В результате шум окружающей среды уменьшается.

- Функция шумоподавления изделия в основном позволяет эффективно подавлять шумы в низкочастотном диапазоне, но не может устранить все шумы.
- В зависимости от типа звука (или если вокруг тихо) эффект шумоподавления может быть незаметен.
- При использовании функции шумоподавления может быть слышно слабое гудение. Этот звук создает функция шумоподавления; он не является неисправностью.
- Эффект шумоподавления может отличаться и в зависимости от способа ношения изделия в наушниках может быть слышен звук высокого тона (свист). В таком случае снимите изделие и вставьте его в уши надлежащим образом.
- При использовании изделия в поезде или транспортном средстве, например в автобусе или грузовом автомобиле, в наушниках может быть слышен шум в зависимости от окружающих условий на железной дороге или на улице.
- Изделие имеет открытую конструкцию корпуса и оснащено функцией шумоподавления, а также функцией предотвращения обратной связи. Прикрытие корпуса рукой или другим предметом активирует функцию предотвращения обратной связи, временно отключая функцию шумоподавления; это не является неисправностью.

■ Если изделие не подключается к устройству (A)

Если отменить или выполнить сопряжение не удалось, попробуйте воспользоваться режимом принудительного сопряжения, чтобы выполнить сопряжение еще раз.

1. При включенном изделии одновременно нажмите и удерживайте кнопку включения/управления и кнопку регулирования звука (+) (примерно в течение 6 секунд).
2. Изделие переключится в режим поиска устройств (режим сопряжения) и пользователь сможет выполнить сопряжение с нужным устройством Bluetooth.

■ Если изделие функционирует ненадлежащим образом (A)

Выполните сброс настроек изделия.

1. При включенном изделии одновременно нажмите и удерживайте кнопку регулирования звука (+/-) (примерно в течение 6 секунд).
2. Когда индикаторная лампочка загорится оранжевым светом, произойдет перезапуск изделия, после чего процедура сброса настроек будет завершена.
3. Удалите изделие из списка зарегистрированных устройств на устройстве Bluetooth и выполните сопряжение заново.

Для пользователей в ЕАЭС

Изготовитель: Аудио-Техника Лтд.
Адрес предприятия-изготовителя:
194-8666 Токио Мачида Ниси Нарусе 2-46-1
EAC
Сделано в Китае

■ Для более удобного обмена данными через Bluetooth (B)

Диапазон эффективного обмена данными этого изделия зависит от наличия препятствий и условий распространения радиоволн.
Для более удобного использования разместите изделие как можно ближе к устройству Bluetooth. Чтобы уменьшить шум и звуковые помехи, не размещайте какие-либо предметы и не располагайтесь сами между антенной изделия (сторона L) и устройством Bluetooth.

简体中文

虽然本产品采用安全设计，但使用不当仍可能发生事故。为了确保安全，使用本产品时请注意全部警告和提醒。

■ 安全预防措施

产品注意事项

- 请勿在医疗设备附近使用本产品。无线电波可能会影响心脏起搏器和医疗电子设备。请勿在医疗设施内使用本产品。
- 在飞机上使用本产品时，请遵守航空公司规定。
- 请勿在自动门、火警报警器等自动控制装置附近使用本产品。无线电波可能会导致电子设备发生故障而引发严重事故。
- 请勿拆开、改装或尝试修理本产品，以免发生触电、导致故障或引发火灾。
- 请勿使产品受到强烈冲击，以免发生触电、导致故障或引发火灾。
- 请勿用潮湿的手操作本产品，以免发生触电或导致受伤。
- 如果本产品出现故障、冒烟、异味、发热、杂音或损坏迹象，请断开其与设备的连接。在这种情况下，请联系当地"铁三角"经销商。
- 请勿使本产品受潮，以免发生触电或导致故障。
- 请勿在本产品中放置不相干的物质，如可燃材料、金属或液体。
- 请勿用布覆盖本产品，以免由于过热引发火灾或导致受伤。
- 如果在驾车时使用无线耳塞，请遵守有关使用移动电话和无线耳塞的适用法律。
- 请勿在因听不到声音而可能导致严重危险的环境下使用本产品（例如在铁路道口、火车站和建筑工地）。
- 如果USB充电线端子弯曲、松动或损坏，请勿对电池充电。否则可能会产生热量、冒烟、起火或触电。
- 如果充电接口或USB充电线中有水渍或异物，请勿对本产品充电。否则可能会导致充电接口或USB充电线锈蚀、产生热量、冒烟、起火、其他故障或触电。
- 请务必使用本产品随附的USB充电线充电。
- 使用市售USB电源适配器或移动电源进行充电时，请使用输出电流为0.25A（250mA）或更大的设备。但是，请勿使用快充设备（5V或更高电压）充电。否则可能导致本产品无法充电或出现故障。
- 为了防止损害您的听力，请勿将声音开得过高。长期听很大的声音可能会造成暂时或永久性的听力损伤。
- 如果因为直接与产品接触造成皮肤刺激，请勿继续使用。
- 别让外壳与臂杆之间或连接处夹到您的手指或身体其他部位。

可充电电池注意事项

本产品配备有一块可充电电池（锂离子电池）。

- 如果电池液进入眼睛，请勿揉搓。应用洁净的水（如自来水）彻底冲洗并立即就医。
- 如果电池液泄漏，请勿用手接触液体。如果液体留在产品内，可能会导致故障。如果电池液泄漏，请联系当地"铁三角"经销商。
  - 如果电池液进入您的口中，应用洁净的水（如自来水）反复漱洗并立即就医。
  - 如果您的皮肤或衣服沾到了液体，立即用水清洗受到影响的皮肤或衣服。如果您感到皮肤刺激，请就医。
- 为避免泄漏，产生热量或引起爆炸：
  - 切勿加热、拆卸或改装电池，也不要将其靠近火源。
  - 请勿试图用钉子刺穿，用锤子打或踩在电池上。
  - 请勿摔本产品或使之受到强烈冲击。
  - 请勿使电池受潮。
- 请勿在下述场所使用，遗留或存放电池：
  - 暴露在阳光直射下或高温、潮湿的地方
  - 暴露在烈日直射下的车内
  - 靠近如热风调节器等热源
- 请仅使用随附 USB 线来充电，以避免出现故障或引发火灾。
- 用户无法自行更换本产品的内部可充电电池。若电池已充满电后，使用时间明显缩短，这说明电池可能已达到其使用寿命。如果出现这种情况，需要维修电池。关于维修的详情，请联系当地"铁三角"经销商。
- 处理本产品时，内置的可充电电池需要妥善处理。请联系当地"铁三角"经销商，咨询电池的正确处理方法。

针对美国用户
FCC声明

警告
本设备符合FCC规则第15部分的要求。其运行应符合以下两个条件：(1) 本设备不得造成有害干扰，以及(2)本设备必须承受任何干扰，包括可能导致意外运行的干扰。

注意
请注意，任何进行本说明书中未明确许可的改动或改装，都可能导致用户丧失使用本设备的权利。
注：本设备已经过测试，证实符合FCC规则第15部分之B类数字设备的限制要求。这些限制旨在提供合理的保护，以防在一般住宅环境中造成有害干扰。本设备会产生、使用和发射射频能量，若未依照指示安装及使用，可能会对无线电通信产生有害干扰。然后，并不保证在特定安装方式下不会产生干扰。如果本设备对无线电或电视接收产生有害干扰（可通过开、关设备判定），建议用户尝试采取以下一项或多项措施来排除此干扰：

- 调整接收天线的方向或位置。
- 增大设备和接收器之间的间距。
- 将设备和接收器分别连接到不同的电路插座上。
- 咨询经销商或经验丰富的无线电/电视技术人员寻求帮助。

本发射机不得与其他系统中使用的任何其他无线发射机协同工作或一起操作。
注：取下左侧的耳罩，可以立即看到FCC ID信息。

射频暴露声明

本设备符合FCC针对未受控制环境所制定的辐射暴露限制，并符合FCC射频（RF）暴露规范。FCC的SAR限值为1g 1.6W/kg。本设备也针对此SAR限值进行了测试。

联系方式：
责任公司：Audio-Technica U.S., Inc.
地址：1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
电话：330-686-2600

针对加拿大用户
加拿大创新、科学与经济发展部（ISED）声明
CAN ICES(B)/NMB(B)
本设备包含免许可发射机/接收机，符合加拿大创新、科学与经济发展部的免许可RSS。其运行应符合以下两个条件：
(1)本设备不得造成干扰。
(2)本设备必须承受任何干扰，包括可能导致设备意外运行的干扰。
本设备符合针对未受控环境所制定之RSS-102射频暴露限制。
ISED的SAR限值为1g 1.6W/kg。本设备也针对此SAR限值进行了测试。
注：取下左侧的耳罩，可以立即看到IC信息。

■ 使用注意事项

- 请在使用前阅读所连接设备的用户手册。
- 对于在使用本产品时发生的意外事件所引起的数据丢失，铁三角将不会以任何方式负责。
- 本产品的开放式设计便于向外界排出噪音。在公共交通系统或其他公共场所，请保持声音较低，以免打扰到其他人。
- 请在连接本产品之前将设备的音量调到最低。
- 在干燥环境之下使用本产品时，您可能会感觉到耳朵里有一种刺痛感。这是由您身体内积累的静电导致的，而非产品故障所致。
- 请勿使本产品受到强烈冲击。
- 请勿在阳光直射下，加热装置附近或在炎热、潮湿或灰尘多的地方存放本产品。此外，请勿使本产品受潮。
- 当本产品使用较长一段时间后，可能会因为紫外线（尤其是阳光直射）和磨损而褪色。
- 如果在仍连接USB充电线的状态下将本产品放在袋子里，USB充电线可能会缠住、断掉或断线。
- 连接或拔出USB充电线时，请务必握住插头。用力拉扯USB充电线可能导致连接线被扯断或出现意外情况。
- 不使用USB充电线时请将其从本产品拔出。
- 不使用本产品时，请将其存放在附带的收纳袋中。
- 仅当使用移动电话网络时本产品才可用于拨打电话。不保证支持使用移动数据网络的聊天应用程序。
- 如果您在电子设备或发射机（如移动电话）附近使用本产品，则可能会听到多余的噪音。在这种情况下，将本产品远离电子设备或发射机。
- 如果您在无线电天线附近使用本产品，则可能会在无线电中听到信号噪音。在这种情况下，请将本产品远离无线电天线。
- 为保护内置可充电电池，每6个月至少充电一次。如果两次充电时间间隔太久，可能会缩短可充电电池的使用寿命或可能无法充电。
- 请在通风良好的地方（10至35°C）为本产品充电，避免阳光直射。否则可能导致电池劣化，连续使用寿命缩短或无法再为电池充电。
- 如果本产品沾有汗水，充电前请使用干布擦去水气。

■ 关于降噪功能

本产品设计为使用内置收音头来拾取周围环境的噪音（来自车辆、空调的噪音等），并通过生成负相的声音来消除噪音。这样就会减少来自环境的声音干扰。

- 本产品的降噪功能主要对低频率范围的噪音有效，但并不能够消除所有噪音。
- 取决于噪音类型（或位于安静的场所中），您可能不会留意到降噪效应。
- 使用降噪功能时可能听到轻微的嗡嗡声。这是降噪功能产生的声音，并非故障。
- 根据您佩戴本产品的方式，降噪效果可能有所不同或可能会发出嘟嘟声（啸叫声）。在这种情况下，请取下本产品，再重新正确戴上。
- 当您在火车或公共汽车或卡车等车辆上使用本产品时，根据铁路/街道的情况可能会听到噪音。
- 本产品采用开放式外壳设计，具有降噪功能，另外还配有啸叫预防功能。用手或其他物品遮盖外壳会激活此啸叫预防功能，并暂时禁用降噪功能；此现象属于正常现象，并非故障。

■ 如果本产品未连接到设备 (A)

如果无法取消配对或配对不成功，可使用强制配对模式重新进行配对。

1. 打开本产品的电源，同时按住电源/控制按钮和音量按钮（+）（约6秒）。
2. 本产品将切换到“搜索设备”（配对模式）状态，即可与所需蓝牙设备进行配对。

■ 如果本产品运行异常 (A)

复位本产品。

1. 打开本产品的电源，同时按住音量按钮（+/-）（约6秒）。
2. 指示灯亮起橙灯后，本产品将会重启，并完成复位操作。
3. 将本产品从蓝牙设备上的注册设备列表中删除，然后再次执行配对。

■ 提供更舒适的蓝牙通信体验 (B)

本产品的有效通信范围根据障碍物和无线电波的状况而有所差异。
如需获得最佳体验，使用本产品时请尽量靠近蓝牙设备。为尽可能减轻噪音和声音干扰，使用者应避免处于产品遥控器和蓝牙设备之间，也应避免在本产品天线（L侧）与蓝牙设备之间放置其他障碍物。

繁體中文

雖然本產品採用安全設計，但使用不當仍可能引起事故。為防範事故於未然，使用本產品時請務必遵守下記事項。

■ 安全上的注意事項

本產品注意事項

- 請勿於醫療設備附近使用本產品。無線電波可能會影響心律調節器和醫療電子設備。請勿於醫療設施內使用本產品。
- 於飛機上使用本產品時，請遵守航空公司的說明。
- 請勿於自動門和火災警報器等自動控制裝置附近使用本產品。無線電波可能會影響電子設備，導致故障而引起意外事故。
- 請勿拆解、改造或試圖修理本產品，以免發生觸電、導致故障或引發火災。
- 請勿使本產品受到強烈撞擊，以免發生觸電、導致故障或引發火災。
- 請勿於手部潮濕的情形下接觸本產品，以免發生觸電或人身傷害。
- 若本產品有發生故障、冒煙、異味、發熱、噪音或出現其他損壞跡象時，請停止使用本產品，並中斷與設備的連結。這種情況下，請聯繫當地的「鐵三角」經銷商。
- 請勿使本產品淋濕，以免發生觸電或故障。
- 請勿將例如易燃物、金屬、液體等異物混入本產品中。
- 請勿用布覆蓋本產品，以免因過熱而發生火災或受傷。
- 若於駕駛時使用耳機，請遵循手機和耳機使用的相關法律規定。
- 請勿於無法聽到周遭環境聲音將導致嚴重危險的地方使用本產品（例如在鐵路平交道、火車站和建築工地）。
- 如果USB充電線的端子彎曲、鬆動或損壞，請勿為電池充電。否則可能會導致發熱、冒煙、起火或觸電。
- 如有水或異物侵入充電插孔或USB充電線，請勿為本產品充電。否則可能會造成充電插孔或USB充電線腐蝕、發熱、冒煙、起火，或發生其他故障或觸電。
- 請務必使用隨附的USB充電線進行充電，以免造成產品損壞。
- 使用市售的USB變壓器或行動電源充電時，請使用輸出電流為0.25A（250mA）或更高的設備。但是，請勿使用擁有快速充電功能（電壓超過5V以上）之設備為本產品充電。否則可能會導致本產品無法充電或故障。
- 為了防止損害您的聽力，請勿以高音量使用。長期以過大音量聆聽，可能造成暫時或永久性的聽力損害。
- 若因與產品的直接接觸，造成皮膚出現過敏現象時，請勿繼續使用。
- 勿讓手指或身體其他部位被夾入機殼與支臂的間隙或連接處。

充電電池注意事項

本產品配備有一只充電電池（鋰離子電池）。

- 電池液不慎誤入眼睛時，請勿搓揉眼睛。應立刻以清水（自來水等）充分沖洗，並儘速就醫診療。
- 電池液外漏時，請勿直接用手接觸液體。若液體殘留在產品內部，可能會導致故障。電池液外漏時，請聯繫當地的「鐵三角」經銷商。
  - 若不慎誤食電池液，請立刻以清水（自來水等）充分漱洗，並儘速就醫診療。
  - 若電池液附著於皮膚或衣類，請立刻以清水沖洗。若皮膚感到任何不適，請儘速就醫診療。
- 為了避免洩漏、發熱或爆炸：
  - 切勿加熱、拆解或改造電池，或丟棄至火中。
  - 請勿以釘子刺插、以鐵鎚敲打或踩踏電池。
  - 請勿使本產品掉落或受到強烈撞擊。
  - 請勿使電池受潮。
- 請勿於以下場所使用、放置或儲存電池：
  - 日照直射、高溫多濕處
  - 烈日直射下的車內
  - 暖爐等熱源附近
- 請務必使用隨附USB線進行充電，以免導致故障或起火。
- 本產品的內建充電電池無法自行更換。若電池充滿電後，使用時間顯著變短，表示電池可能已經達到使用壽命。於此情況下，請將產品送修。有關修理的詳情，請聯繫您當地的「鐵三角」經銷商。
- 廢棄本產品時，需妥善處理內建的充電式電池。有關妥善廢棄電池的方法，請聯繫您當地的「鐵三角」經銷商。

針對美國用戶
FCC宣告

警告
本裝置符合FCC規則第15部分。操作受以下兩個條件限制：(1)本裝置不得造成有害干擾，及(2)本裝置必須接受任何收到的干擾，包括可能造成不良操作的干擾。

注意
請注意，本說明書中未明確許可的任何變更或修改皆可能使操作本設備的授權失效。
註：本設備經過測試，證明符合FCC規則第15部分的B級數位裝置之限制。此等限制旨在提供合理的保護，防止安裝於住宅區時產生有害干擾。本設備會產生、使用並可能放射無線電頻率能量，若未按照說明安裝及使用，可能對無線電通訊產生有害干擾。但是，無法保證在特定安裝條件之下，必然不會產生干擾。如果該設備確實對無線電或電視接收造成有害干擾（可以透過關閉設備後再開啟來確定），建議使用者可嘗試以下一種或多種措施，排除干擾狀況：

- 調整接收天線的方向或位置。
- 增大該設備與接收器之間的距離。
- 將該設備與接收器插在不同電路的插座上。
- 洽詢經銷商或有經驗的無線電／電視技術人員，以獲得協助。

本發射器不得與其他系統中使用的其他任何天線或發射器放在同一位置或互相搭配操作。
註：取下左側耳罩，立即可見FCC ID資訊。

無線電頻率暴露聲明

本設備符合FCC針對未受控環境所設立之放射線暴露限制，並符合FCC無線電頻率(RF)暴露規範。FCC的SAR限值為1g 1.6W/kg。本設備也已根據此SAR限值進行測試。

聯絡方式：
負責公司：Audio-Technica U.S., Inc.
地址：1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
電話：330-686-2600

針對加拿大用戶
加拿大創新、科學與經濟發展部(ISED)聲明
CAN ICES(B)/NMB(B)
本設備包含免授權的發射器/接收器，符合加拿大創新、科學與經濟發展部的免授權RSS的規範。操作受以下兩個條件限制：
(1)本設備不得造成干擾。
(2)本設備必須接受任何干擾，包括可能造成該設備不良操作的干擾。
本裝置符合針對未受控環境設立之RSS-102放射線暴露限制。
ISED的SAR限值為1g 1.6W/kg。本設備也已根據此SAR限值進行測試。
註：取下左側耳罩，立即可見IC資訊。

■ 使用上的注意事項

- 使用前，請務必閱讀所連接裝置的使用說明書。
- 使用本產品時，若發生連接裝置之儲存記憶消失等情形，本公司恕不負擔任何責任。
- 本產品設計為噪音容易擴散至外部。搭乘公共交通工具或處於其他公共場所時，請注意音量，避免造成他人困擾。
- 連接本產品之前，請將欲連接設備之音量調至最低。
- 於乾燥環境中使用本產品時，耳朵可能會有刺痛感。這是由於積聚在人體上的靜電所造成的，並非產品故障。
- 請勿使本產品受到強烈撞擊。
- 請勿將本產品放置於日照直射處、暖氣設備附近，高溫多濕或多塵的場所。此外，請勿讓本產品受潮。
- 本產品於使用一段時間後，有可能因為紫外線（尤其是陽光直射）和磨損而發生褪色情況。
- 若在仍連接USB充電線的狀態下將本產品放置在袋子裡，USB充電線可能會被夠住、扯斷或斷線。
- 在插入或拔除USB充電線時，請務必握住插頭。若直接拉扯USB充電線，可能使得線材斷裂或發生意外。
- 不需使用USB充電線時，請從產品上拔除。
- 不使用本產品時，請將其存放於隨附之攜帶袋中。
- 只有使用手機通話網路時才能以本產品進行通話。不保證支援使用行動數據網路的通訊應用程式。
- 如果在未與本產品連接的電子裝置或發射器（例如行動電話）附近使用本產品，可能會出現雜音。在這種情況下，請將本產品遠離電子裝置或發射器。
- 於無線電波天線附近使用本產品時，可能會在收音機訊號中聽到噪訊。在這種情況下，請將本產品遠離無線電波天線。
- 為保護內建的充電電池，請每6個月至少進行一次充電。如果充電間隔時間太久，充電電池的壽命可能會縮短，或是可能無法再為充電池充電。
- 請於通風良好的地方（10至35°C）為本產品充電，避免日照直射。否則可能造成電池劣化，連續使用壽命縮短，或無法再為電池充電。
- 如果本產品由於汗水而變濕，請在充電前用乾布擦拭濕氣。

警語
取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

■ 關於降噪功能

本產品設計為使用內建麥克風拾取周圍環境的噪訊（來自車輛、空調的噪訊等），並透過產生負相位波長來消除噪訊。由此可減少來自環境的聲音。

- 本產品的降噪功能主要對低頻範圍內的噪音有效，並非所有噪音都會消除。
- 視噪訊類型而定（或位於安靜的場所之中），您可能不會留意到降噪效應。
- 使用降噪功能時可能會聽見細微的嗡嗡聲。這是降噪功能產生的聲音，並不是故障。
- 視產品佩戴方式而異，降噪效果可能不盡相同或可能發出尖銳聲音（嘯叫聲）。在此情況下，請先拿下產品，然後重新正確戴在耳朵上。
- 於火車上或公車或卡車等車輛上使用時，視鐵軌／路面狀況而異，會有聽見噪音的可能。
- 本產品採用開放式機殼設計，具備降噪功能，並配備回授抑制功能。用手或其他物體蓋住機殼將啟動此回授抑制功能，暫時停用降噪功能；此屬正常作動，非為故障。

■ 如果本產品並未連接到設備 (A)

如果無法取消配對或配對不成功，您可以設定強制配對模式以再次執行配對。

1. 開啟本產品電源後，同時按住電源／控制按鈕及音量按鈕（+）（約6秒）。
2. 本產品將切換到「搜尋設備」（配對模式）狀態，即可與所需藍牙設備進行配對。

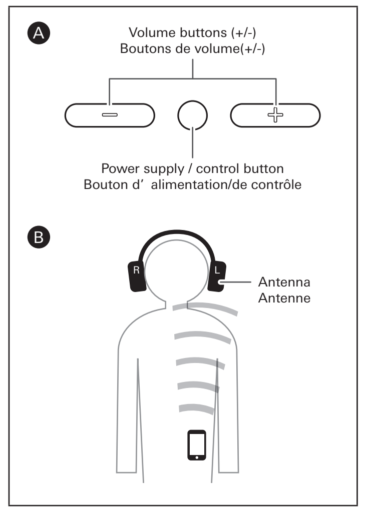
■ 如果本產品運作異常 (A)

重置本產品。

1. 開啟本產品電源後，同時按住音量按鈕（+/-）（約6秒）。
2. 指示燈亮起橙燈後，本產品將重新啟動，並且完成重置。
3. 在您的藍牙設備上，將本產品從已登錄的設備清單中移除，並且再次進行配對。

■ 打造更舒適愉悅的藍牙通訊體驗 (B)

視障礙物及無線電波條件而異，本產品的有效通訊範圍會產生變化。
盡可能在藍牙設備周圍使用本產品，以獲得更愉悅的體驗。為降低噪訊和聲音中斷情形，勿使人體或其他障礙物介入本產品天線（L端）與藍牙設備之間，以免阻礙收訊。



單元	限用物質及其化學符號					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr^{+6})	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
外殼	○	○	○	○	○	○
電路板	−	○	○	○	○	○
配件	−	○	○	○	○	○
包裝材	○	○	○	○	○	○

備考1.〝超出0.1 wt %〞及〝超出0.01 wt %〞係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。
備考2.〝○〞係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。
備考3.〝−〞係指該項限用物質為排除項目。

通信仕様/Communication specifications/Spécifications pour la communication/Kommunikationsdaten/Specifiche di comunicazione/Especificaciones de comunicación/Especificações de comunicação/Технические характеристики связи/通信规范/通訊規格	
最大RF出力/Maximum RF output/Sortie RF maximum/Maximale HF-Ausgangsleistung/Uscita RF massima/Salida de RF máxima/Potência de saída de RF máxima/Максимальная выходная мощность радиочастот/最大射频输出/最大無線射頻輸出功率	12 mW EIRP
使用周波数帯域/Frequency band/Bande de fréquence/Frequenzband/Banda di frequenza/Banda de frecuencia/Banda de frequências/Диапазон частот/频带/使用頻率範圍	2.402 GHz - 2.480 GHz
変調方式/Modulation type/Type de modulation/Modulationstyp/Tipo di modulazione/Tipo de modulación/Tipo de modulação/Тип модуляции/调制类型/調頻類型	GFSK, Pi/4DQPSK, 8DPSK
频率范围	2400 - 2483.5 MHz（SRRC指标值）

The **Bluetooth**® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Audio-Technica Corporation is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
La marque verbale et les logos **Bluetooth**® sont des marques deposees detenues par Bluetooth SIG, Inc. et ces marques sont utilisees sous licence par Audio-Technica Corporation, leurs detenteurs respectifs. Les autres marques de commerce et noms commerciaux sont la propriete de leurs detenteurs respectifs.

R 001-A22226

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation
2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2025 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact / Contact de support global: www.at-globalsupport.com

中国大陆客户联系资料
制造商：铁三角有限公司
代理商：北京铁三角技术开发有限公司华南分公司
地址：广州市番禺区南村镇万博二路180号粤海广场2505房
电话：+86 (0)20-37619291
生产标准：GB4943.1-2022, GB/T9254.1-2021
原产地：中国海宁市　　印刷版本一：2025年11月

香港及澳門客戶聯絡資料
總代理：鐵三角(大中華)有限公司
地址：香港九龍紅磡民裕街51號凱旋工商中心第二期9樓K室
電話：+852-23569268

台灣客戶聯絡資料
進口廠商／製造廠商：台灣鐵三角股份有限公司
地址：桃園市中壢區過嶺里福達路2段322巷6號
服務專線：0800–774-488　原產地：中國海寧市

132315840-01-01　　ver.1 2025.11.01